2023年度　東京服飾専門学校 教科別シラバス

授業科目名	学期	回数（限）	時間数	学科コース	学年	クラス
服飾技術実習	前期	28	35	ファッション ビジネス科	1	A

選択区分	必修 or 選択	授業形態（講義/実習割合）	企業連携・企業講師
	必修	講義20%／実習80%	（株）ニッセン（株） ベビーロック（ミシン講義）

科目概要	縫製技術の基礎的な知識を習得する。
習得項目	1.基本的な縫製の知識を学ぶ 2.期限を守る意識を身につける
評価方法	技術の習得度・試験による基礎知識確認・授業態度・出欠状況をトータルして評価

授業計画

ステップ	（月/日）	学習内容・課題	習得目標	他授業連携
1	4月10日	オリエンテーション		
2	4月17日	道具の説明と使用方法 ピンクッション製作	手縫の技法	
3	4月24日	ピンクッション製作		
4	5月1日	↓		
5	5月8日	↓		
6	5月15日	ミシン講義（企業講師）	ミシンの扱い方	
7	5月22日	手縫の基礎	手縫の技法	
8	5月29日	↓		
9	6月5日	ミシンの扱い方（復習） トートバッグ製作	バッグの縫製	
10	6月12日	↓		
11	6月19日	↓		
12	6月26日	前期試験（実技・筆記）	習得度の確認	
13	7月3日	トートバッグ製作	提出期限	
14	7月10日	まとめ		

講師区分	非常勤	講師名	荒井　光	関係実務経験	専門学校での造形科目の教員職経験。 東京都専修学校教員認定証取得。

2023年度　東京服飾専門学校 教科別シラバス

授業科目名	学期	回数（限）	時間数	学科コース	学年	クラス
服飾技術実習	後期Ⅰ	22	27.5	ファッション ビジネス科	1	A

選択区分	必修 or 選択	授業形態（講義/実習割合）	企業連携・企業講師
	必修	講義20%／実習80%	なし

科目概要	縫製技術や装飾技術の基礎的な知識を習得する。
習得項目	1.商品として縫製の知識を学ぶ 2.期限を守る意識を身につける 3.リメイク技術を学び、３Rの意識を高める
評価方法	技術の習得度・試験による基礎知識確認・授業態度・出欠状況をトータルして評価

授業計画

ステップ	（月/日）	学習内容・課題	習得目標	他授業連携
1	9月4日	フラットロックミシンの扱い方 職業用ミシンの扱い方復習		
2	9月11日	商品製作	商品としての製作	ショップ起業実習
3	9月25日	↓		
4	10月2日			
5	10月16日			
6	10月23日			
7	10月30日			
8	11月6日			
9	11月13日			
10	11月20日	修了製作リメイク作品 （ファッションショー衣装）	テーマ・デザイン	
11	11月27日	↓	リメイク縫製	

講師区分	非常勤	講師名	荒井　光	関係実務経験	専門学校での造形科目の教員職経験。 東京都専修学校教員認定証取得。

2023年度　東京服飾専門学校 教科別シラバス

授業科目名	学期	回数（限）	時間数	学科コース	学年	クラス
服飾技術実習	後期Ⅱ	20	25	ファッション ビジネス科	1	A

選択区分	必修 or 選択	授業形態（講義/実習割合）	企業連携・企業講師
	必修	講義20%／実習80%	なし

科目概要	縫製技術や装飾技術の基礎的な知識を習得する。 グループでの
習得項目	1.リメイク技術を学び、３Rの意識を高める 2.期限を守る意識を身につける
評価方法	技術の習得度・試験による基礎知識確認・授業態度・出欠状況をトータルして評価

授業計画

ステップ	（月/日）	学習内容・課題	習得目標	他授業連携
1	12月4日	修了製作リメイク作品 （ファッションショー衣装）	リメイク縫製	
2	12月11日			
3	12月18日			
4	12月25日			
5	1月15日			
6	1月22日	（後期試験）		
7	1月29日		提出期限	
8	2月5日	ショー期間（DPT）		
9	2月19日	ショー期間		
10	2月26日	ショー（振替休日）		

講師区分	非常勤	講師名	荒井　光	関係実務経験	専門学校での造形科目の教員職経験。 東京都専修学校教員認定証取得。

2023年度　東京服飾専門学校 教科別シラバス

授業科目名	学期	回数（限）	時間数	学科コース	学年	クラス
カラー	前期	28	35	ファッション ビジネス科	1	A

選択区分	必修 or 選択	授業形態（講義/実習割合）	企業連携・企業講師
	必修	オンライン講義100%	なし

科目概要	AFT色彩検定3級公式テキストを使用し、文部科学省後援AFT色彩検定3級の取得を目指すことを主目的とし、実務にむけたイメーシに合わせたカラーコーディネート、パーソナルカラー(人それぞれに似合う色)概論を学ぶ。 色彩検定日 :6月25日(受験申込者のみ)
習得項目	文部科学省後援AFT色彩検定3級の習得及び、習得した色彩知識を仕事の現場に活かす方法を修得する。さらに、表現したいファッションイメージに合わせて、ロジックに基づいてカラーコーディネートの提案が出来るようになる。 パーソナルカラーの概要を理解し、販売やメイクアップ、ヘアカラー、ファッションデザイン、ファッションスタイリングなどそれぞ れの分野に役立つ知識を習得する(色彩応用編)。
評価方法	各項目に標準点を置き「履修意欲・習熟度」100ポイント、「課題評価」100ポイント「筆記試験」100ポイントとして、その平均値を算出し評価を行う。

授業計画

ステップ	(月/日)	学習内容・課題	習得目標	他授業連携
1	4月17日	・授業オリエンテーション ・色の成り立ちと色の表示（PCCS）	色彩検定の概要や取得目的を知る。　PCCSで色の成り立ちの基本を理解する	
2	4月24日	・色の表示（PCCS）、トーンマップの作成	PCCS表色系を理解し配色に活かしていく。	
3	5月1日	・色彩心理（色の心理的効果、色の視覚効果　）	色の心理的効果 、色の視覚効果の習得。	
4	5月8日	・ファッションと色彩、流行色 ・色彩調和①（PCCSを用いた色相配色）	ファッションにおける色彩や流行色について理解。色相配色をファッションを通して習得。	
5	5月15日	・色彩調和②（PCCSを用いた色相配色とトーン配色）	色相配色とトーン配色をファッションを通して習得。	
6	5月22日	・色彩調和③アクセントカラー、セパレーション、グラデーション等	アクセントカラーなど様々な配色技法とその効果を習得。	
7	5月29日	・光と色①（混色と混色の身近な応用例）	混色の理解とともに、写真やSNSなど印刷物やモニター画面の混色を理解する。	
8	6月5日	・光と色②（色が見えるしくみ、照明の色）	色が見えるしくみ、照明の色の見え方を理解する。	
9	6月12日	・インテリアと色彩 ・検定直前対策①	項目［全7項目］ごとの出題ポイントを理解する。	
9	6月19日	・検定直前対策②	項目［全7項目］ごとの出題ポイントを理解する。	
10	6月26日	・イメージに合わせたファッションカラーコーディネート①	カジュアルやモダンなど8種類の配色イメージをイメージスケールで理解する。	
10	7月3日	・イメージに合わせたファッションカラーコーディネート②	ファッションにおけるイメージを理解し、イメージに合わせてコラージュ制作とカラーコーディネートが出来る。	
11	7月10日	・パーソナルカラー概論と仕事での取り入れ方	パーソナルカラー理論の基礎知識を習得。	

講師区分	非常勤	講師名	堀川　彩里	関係実務経験	文部科学省後援色彩検定協会認定 色彩講師として、色彩検定やパーソナルカラー検定対策を行う他、ファッション・ブライダル・メイク・アニメ・ゲーム等各分野の企業や学校の色彩講義を担当。

2023年度　東京服飾専門学校 教科別シラバス

授業科目名	学期	回数（限）	時間数	学科コース	学年	クラス
ヘアメイク	前期	28	35	ファッション ビジネス科	1	A

選択区分	必修 or 選択	授業形態（講義/実習割合）	企業連携・企業講師
	必修	講義2/実習8	なし

科目概要	ヘアスタイリング用のウィッグを使い、ヘア道具の扱い方やヘアスタイリングの方法を学ぶ ヘアスタイルとファッションの関係性、ファッションに合わせたヘアスタイルの考え方を学ぶ
習得項目	ヘアスタイリングの基本テクニックと基本テクニックを活かした応用テクニック
評価方法	各項目に標準点を置き「履修意欲・習熟度」100ポイント、「実技試験」90ポイント「コンセプトシート」10ポイントとして、 その平均値を算出し評価を行う。（出席率が75%未満、成績評価が60点未満の場合は補習の対象となる） 出席率が65%未満の場合は留年。

授業計画

ステップ	（月/日）	学習内容・課題	習得目標	他授業連携
1	4月11日	オリエンテーション ヘア美容用語解説、ヘア用具の説明、 ウィッグを使った三つ編み	道具の名前、使い方 三つ編み	
2	4月18日	編み込み 表編み、裏編み　（ブラッシング、ブロッキング、コーミング含む）	編み込み2種類	
3	4月25日	アイロン巻 フォワード巻き、リバース巻き	ヘアアイロンの 基本テクニック	
4	5月9日	カチューシャ編み込み これまで習得した技術を組み合わせて1つの ヘアスタイルを完成させる	編み込みとアイロンの テクニックを使った ヘアスタイル	
5	5月16日	ポニーテール ゴムの結び方、色々な位置のポニーテール について、毛先のホットカーラー巻き	ポニーテールのテクニック	
6	5月23日	お団子 ピニング/シニヨン（お団子ヘア）、毛先の 逆毛テクニック	お団子ヘアのテクニック	
7	5月30日	トレンドのヘアアレンジテクニック くるりんぱ、玉ねぎ、編みおろし	トレンドのヘアスタイル	
8	6月6日	アレンジヘア ウォーターフォール、リボン、お花	アレンジスタイルのテクニック	
9	6月13日	大小ポンパドール、下目のアップスタイル ホットカーラー巻き、根本の逆毛、ピニング グテクニック	ポンパドールのテクニック	
10	6月20日	夜会巻き ホットカーラー巻き、根本の逆毛、ピニング グテクニック	夜会巻きのテクニック	
11	6月27日	ストレートアイロンを使ったヘアスタイル テストに対策	ストレートアイロンの使い方	
12	7月4日	期末テスト：カワイイ/カッコイイ テーマを選び制限時間内にヘアデザインを 作り上げる	テスト	
13	7月11日	浴衣に似合うヘアスタイル	浴衣に似合うヘアスタイルテクニック	
14	7月18日	相モデルでヘアメイクをする	人にヘアメイクをする	

講師区分	非常勤	講師名	名取瞳・藤井奈穂 白鳥みや子・かすみきりこ	関係実務経験	ヘアメイクアーティストとして多数の広告や映像作品に 携わる実績を持ち、技術の指導にあたる。

2023年度　東京服飾専門学校 教科別シラバス

授業科目名	学期	回数（限）	時間数	学科コース	学年	クラス
ショップ起業実習	前期	28	35	ファッション ビジネス科	1	A

選択区分	必修 or 選択	授業形態（講義/実習割合）	企業連携・企業講師
	必修	講義20%／実習80%	なし

科目概要	実店舗運営を通して起業の流れを体験する。 クラス内での業務分担をしアパレル業界の職種の理解。
習得項目	1.ブランドコンセプト・MD・マーケティティング・VMDなどのプランニング方法習得。 2.商品製作・ショップ内装プラン・ショップ運営方法習得。 3.ショップ運営においてのグループワークの重要性を学ぶ。
評価方法	分担業務の責任と・協調性・授業態度・出欠状況をトータルして評価

授業計画

ステップ	（月/日）	学習内容・課題	習得目標	他授業連携
1	4月12日	授業内容説明・スケジュール		
2	4月19日	セクション業務内容説明	グループ作業での協調性	
3	4月26日	コンセプト・ショップ名等 クラス内プレゼン・決定	プランニング方法	
4	5月10日	セクション担当決定	責任と連携	
5	5月17日	各セクション作業 理事長プレゼンテーション準備		
6	5月24日	↓		
7	5月31日			
8	6月7日			
9	6月14日			
10	6月21日			
11	6月28日			
12	7月5日			
13	7月12日			
14	7月19日	前期ショー（リハ）		

講師区分	非常勤	講師名	荒井　光	関係実務経験	—

2023年度　東京服飾専門学校 教科別シラバス

授業科目名	学期	回数（限）	時間数	学科コース	学年	クラス
ショップ起業実習	後期Ⅰ	26	32.5	ファッション ビジネス科	1	A

選択区分	必修 or 選択	授業形態（講義/実習割合）	企業連携・企業講師
	必修	講義20%／実習80%	なし

科目概要	実店舗運営を通して起業の流れを体験する。 クラス内での業務分担をしアパレル業界の職種の理解。
習得項目	1.ブランドコンセプト・MD・マーケティティング・VMDなどのプランニング方法習得。 2.商品製作・ショップ内装プラン・ショップ運営方法習得。 3.ショップ運営においてのグループワークの重要性を学ぶ。
評価方法	技術の習得度・試験による基礎知識確認・授業態度・出欠状況をトータルして評価

授業計画

ステップ	（月/日）	学習内容・課題	習得目標	他授業連携
1	9月6日	理事長プレゼンテーション１	プレゼンテーション力	
2	9月13日	理事長プレゼンテーション２	〃	
3	9月20日	販売商品製作	商品としての製作	服飾技術実習
4	9月27日			
5	10月4日			
6	10月11日			
7	10月18日			
8	10月25日			
9	11月1日			
10	11月8日			
11	11月15日			
12	11月22日			
13	11月29日			

講師区分	非常勤	講師名	荒井　光	関係実務経験	―

2023年度　東京服飾専門学校 教科別シラバス

授業科目名	学期	回数（限）	時間数	学科コース	学年	クラス
ショップ起業実習	後期Ⅱ	22	27.5	ファッション ビジネス科	1	A

選択区分	必修 or 選択	授業形態（講義/実習割合）	企業連携・企業講師
	必修	講義20%／実習80%	なし

科目概要	実店舗運営を通して起業の流れを体験する。 クラス内での業務分担をしアパレル業界の職種の理解。
習得項目	1.ブランドコンセプト・MD・マーケティティング・VMDなどのプランニング方法習得。 2.商品製作・ショップ内装プラン・ショップ運営方法習得。 3.ショップ運営においてのグループワークの重要性を学ぶ。
評価方法	技術の習得度・試験による基礎知識確認・授業態度・出欠状況をトータルして評価

授業計画

ステップ	（月/日）	学習内容・課題	習得目標	他授業連携
1	12月6日	販売商品製作・オープン準備	ショップ運営方法	
2	12月13日	↓	期日遵守	
3	12月20日	↓		
4	1月10日	↓		
5	1月17日	オープン前最終確認 （shop1/19・20・21開催予定）		
6	1月24日	片付け・収支計算		
7	1月31日	代休		
8	2月7日	レポート提出		
9	2月14日	ショー期間		
10	2月21日	ショー期間		
11	2月28日	片付け日		

講師区分	非常勤	講師名	荒井　光	関係実務経験	―

2023年度　東京服飾専門学校 教科別シラバス

授業科目名	学期	回数（限）	時間数	学科コース	学年	クラス
Mac演習Ⅰ	前期	28	35	ファッション ビジネス科	1	A

選択区分	必修 or 選択	授業形態（講義/実習割合）	企業連携・企業講師
	必修	演習50%・実技40%・講義10%	なし

科目概要	Macパソコンを使用したグラフィックソフト（Illustrator・Photoshop） PowerPointの技術取得
習得項目	デジタル基礎知識 Illustrator初～中級操作習得
評価方法	課題作成による知識と技術／期末テストによる基礎知識確認／授業態度／出欠状況をトータルして評価

授業計画

ステップ	（月/日）	学習内容・課題	習得目標	他授業連携
1	4月11日	授業内容説明・デジタル基礎知識	授業概要の理解	
2	4月18日	ソフトウェアについて 基本操作説明	授業概要の理解	
3	4月25日	Illustrator （図形描画・文字・カラー設定）	アプリの理解	
4	5月9日	Illustrator （ブランドロゴ作成）	フォントのアレンジ	ショップ企業実習
	5月16日	↓		
5	5月23日	Illustrator （ペンツール・パスファインダー・クリッピングマスク）	ペンツール操作練習	
	5月30日	↓		
6	6月6日	Illustrator （図形描画・パターン作成）	図形のアレンジ	
	6月13日	↓		
7	6月20日	Illustrator （自己紹介シート作成）	画像リンクの仕組み理解	
	6月27日	↓		
8	7月4日	期末テスト／Illustrator （自己紹介シート作成）	前期おさらい	
9	7月11日	Illustrator （アパレルブランドポスター作成）	画像リンクの仕組み理解	
	7月18日	↓		

講師区分	常勤	講師名	大島 佐和子	関係実務経験	デザイン事務所にてグラフィック デザイナー経験後、 美術学校にて講師経験もあり

2023年度　東京服飾専門学校 教科別シラバス

授業科目名	学期	回数（限）	時間数	学科コース	学年	クラス
Mac演習Ⅰ	後期Ⅰ	26	32.5	ファッション ビジネス科	1	A

選択区分	必修 or 選択	授業形態（講義/実習割合）	企業連携・企業講師
	必修	演習50%・実技40%・講義10%	なし

科目概要	Macパソコンを使用したグラフィックソフト（Illustrator・Photoshop） PowerPointの技術取得
習得項目	Illustrator中級操作およびPhotoshop初級操作習得 各ソフトウェアの連動操作習得
評価方法	課題作成による知識と技術／期末テストによる基礎知識確認／授業態度／出欠状況をトータルして評価

授業計画

ステップ	（月/日）	学習内容・課題	習得目標	他授業連携
1	9月5日	Photoshop （ドットイラスト作成）	ペンツール機能の応用	
2	9月12日	Photoshop （基本ツール説明・画像明度調整）	アプリの概要理解	
3	9月19日	Illustrator・Photoshop （雑誌のページ作成）	アプリの連動	
	9月26日	↓		
	10月3日	↓		
4	10月10日	Illustrator （アバターの作成）	ペンツール操作練習 パスファインダー応用	
	10月17日	↓		
5	10月24日	Illustrator・PowerPoint （〇〇の知らない世界）	情報の整理整頓	
	10月31日	↓		
	11月7日	↓		
6	11月14日	Photoshop・ipad （手描きイラストでのパターン作成）	MacとiPadの連動	
	11月21日	↓		
	11月28日	↓		

講師区分	常勤	講師名	大島 佐和子	関係実務経験	デザイン事務所にてグラフィック デザイナー経験後、 美術学校にて講師経験もあり

2023年度　東京服飾専門学校 教科別シラバス

授業科目名	学期	回数（限）	時間数	学科コース	学年	クラス
Mac演習Ⅰ	後期Ⅱ	22	27.5	ファッション ビジネス科	1	A

選択区分	必修 or 選択	授業形態（講義/実習割合）	企業連携・企業講師
	必修	演習50%・実技40%・講義10%	なし

科目概要	Macパソコンを使用したグラフィックソフト（Illustrator・Photoshop） PowerPointの技術取得
習得項目	Illustrator初～中級操作およびPhotoshop初級操作習得 各ソフトウェアの連動操作習得
評価方法	課題作成による知識と技術／期末テストによる基礎知識確認／授業態度／出欠状況をトータルして評価

授業計画

ステップ	（月/日）	学習内容・課題	習得目標	他授業連携
1	12月5日	Illustrator （ハンガーイラスト練習）	ペンツール操作練習	
	12月12日	↓		
2	12月19日	Illustrator （商品カタログページ作成）	情報の整理整頓	
	12月26日	↓		
3	1月16日	Photoshop （画像加工演習）	画像加工技術の取得	
4	1月23日	期末テスト／Illustrator・Photoshop （オリジナルBooklet作成）	後期おさらい 情報の整理整頓	
5	1月30日	Illustrator・Photoshop （オリジナルBooklet作成）	思い描いたものを 形にする	
	2月6日	↓		
	2月13日	↓		
	2月20日	ファッションショー期間		
	2月27日	ファッションショー片付け		

講師区分	常勤	講師名	大島 佐和子	関係実務経験	デザイン事務所にてグラフィック デザイナー経験後、 美術学校にて講師経験もあり

2023年度　東京服飾専門学校 教科別シラバス

授業科目名	学期	回数（限）	時間数	学科コース	学年	クラス
パーソナルコーディネート	前期	28	35	ファッション ビジネス科	1	A

選択区分	必修 or 選択	授業形態（講義/実習割合）	企業連携・企業講師
	必修	実技７０％講義３０％	なし

科目概要	アイテム名、ディテール名などを網羅する トータルコーディネートのテクニックを身につける
習得項目	専門用語の習得 トータルコーディネートの表現力、テクニックの習得
評価方法	各項目に標準点を置き「履修意欲・習熟度」１００ポイント、「課題評価」１００ポイント、「筆記試験」１００ポイントとして、その平均値を算出し評価を行なう。（出席率が７５％未満、成績評価が６０点未満の場合は補習の対象となる）出席率が６５％未満の場合は留年。

授業計画

ステップ	（月/日）	学習内容・課題	習得目標	他授業連携
1	4月12日	授業内容説明・マップ作成	年間スケジュール管理	
2	4月19日	ネクタイ、スカーフの結び方	基礎技術の習得	
3	4月26日	ディスプレーについて・リサーチ準備	基礎知識の習得	
4	5月10日	リサーチ	実物の確認	
5	5月17日	ディスプレー実技	技術の習熟	
6	5月24日	ディスプレー実技	技術の習熟	
7	5月31日	プレゼン資料作成	説得力の向上	
8	6月7日	プレゼン	構成力の習得	
9	6月14日	アイテム、ディテールの名称について	基礎知識の習得	
10	6月21日	コーディネート	表現力の向上	
11	6月28日	コーディネート	表現力の向上	
12	7月5日	プレゼン	構成力の習得	
13	7月12日	テスト	学習の確認	
14	7月19日	提出物等の予備日		

講師区分	非常勤	講師名	遠藤　麻希子	関係実務経験	実務としてスタイリストをしている キャリアと経験から、コーディネイトの知識やテクニックの指導にあたる。

2023年度　東京服飾専門学校 教科別シラバス

授業科目名	学期	回数（限）	時間数	学科コース	学年	クラス
パーソナルコーディネート	後期Ⅰ	26	32.5	ファッション ビジネス科	1	A

選択区分	必修 or 選択	授業形態（講義/実習割合）	企業連携・企業講師
	必修	実技７０％講義３０％	なし

科目概要	アイテム名、ディテール名などの基礎知識を網羅する トータルコーディネートのテクニックを身につける
習得項目	専門用語の習得 トータルコーディネートの表現力、プレゼン力
評価方法	各項目に標準点を置き「履修意欲・習熟度」１００ポイント、「課題評価」１００ポイント、「筆記試験」１００ポイントとして、その平均値を算出し評価を行なう。（出席率が７５%未満、成績評価が６０点未満の場合は補習の対象となる）出席率が６５%未満の場合は留年。

授業計画	ステップ	（月/日）	学習内容・課題	習得目標	他授業連携
	1	9月6日	映画鑑賞・衣装、インテリアの研究	知識習得	
	2	9月13日	現代ファッションに落とし込みマップ作成	表現力の向上	
	3	9月20日	プレゼン	構成力の向上	
	4	9月27日	体型別コーディネート研究	基礎知識の習得	
	５・６	10月4・11日	有名人コーディネート	表現力の習熟	
	7	10月18日	プレゼン	構成力の向上	
	8	10月25日	世界のブランドについて	知識の向上	
	9	11月1日	アイテム、ディテールについて	基礎知識の習得	
	10	11月8日	コーディネート組み	表現力の習熟	
	11	11月15日	クリスマスコーディネート作成	表現力の習熟	
	12	11月22日	プレゼン	構成力の向上	
	13	11月29日	ショップリサーチ	実物の確認	
	14	12月6日	自社ブランドカタログ作成	構成力の習熟	
	15	12月13日	自社ブランドカタログ作成	構成力の習熟	
	16	12月20日	自社ブランドカタログ作成	構成力の習熟	

講師区分	非常勤	講師名	遠藤　麻希子	関係実務経験	実務としてスタイリストをしている キャリアと経験から、コーディネイトの知識やテクニックの指導にあたる。

2023年度　東京服飾専門学校 教科別シラバス

授業科目名	学期	回数（限）	時間数	学科コース	学年	クラス
パーソナルコーディネート	後期Ⅱ	22	27.5	ファッション ビジネス科	1	A

選択区分	必修 or 選択	授業形態（講義/実習割合）	企業連携・企業講師
	必修	実技７０％講義３０％	なし

科目概要	アイテム名、ディテール名などの基礎知識を網羅する トータルコーディネートのテクニックを身につける
習得項目	専門用語の習得 トータルコーディネートの表現力、プレゼン力
評価方法	各項目に標準点を置き「履修意欲・習熟度」１００ポイント、「課題評価」１００ポイント、「筆記試験」１００ポイントとして、その平均値を算出し評価を行なう。（出席率が７５％未満、成績評価が６０点未満の場合は補習の対象となる）出席率が６５％未満の場合は留年。

授業計画

ステップ	（月/日）	学習内容・課題	習得目標	他授業連携
17	1月10日	カタログプレゼン	構成力の習熟	
18	1月17日	カタログプレゼン	構成力の習熟	
19	1月24日	総復習	知識の確認	
20	1月31日	テスト、答え合わせ	学習の確認	
21	2月7日	提出物等の予備日		

講師区分	非常勤	講師名	遠藤　麻希子	関係実務経験	実務としてスタイリストをしている キャリアと経験から、コーディネイトの知識やテクニックの指導にあたる。

2023年度　東京服飾専門学校 教科別シラバス

授業科目名	学期	回数（限）	時間数	学科コース	学年	クラス
カメラワーク	前期	28	35	ファッション ビジネス科	1	A

選択区分	必修 or 選択	授業形態（講義/実習割合）	企業連携・企業講師
	必修	講義50%/実習50%	なし

科目概要	写真の基礎知識、理解を深めて、ファッションと写真の関わり方を学ぶ。 デジタルカメラの基本操作や基本技術を学び、感性や表現力の向上につなげていく。
習得項目	1.写真の基礎知識の習得 2.デジタルカメラの使用方法の習得
評価方法	授業への参加・意欲・習熟度を100点、授業課題評価100点、定期試験を100点として平均値を算出し、成績評価を行う。なお、出席率が75%未満、成績評価が60点未満の場合は補習・補講対象となる。出席率が65%未満の場合は留年。

授業計画

ステップ	（月/日）	学習内容・課題	習得目標	他授業連携
1	4月13日	授業オリエンテーション	授業内容への理解	
2	4月20日	写真の基礎知識 （絞り・シャッタースピード・ISO・構図アングル カラーバランス）	基礎知識	
3	4月27日	一眼レフの取り扱い方法 （学生同士で撮影・データについて）	基礎知識・基本操作	
4	5月11日	学内でスタイリング写真撮影 （全身・上半身・座り・寄りなど）	構図アングルの応用	
5	5月18日	屋外ロケ撮影	屋内撮影との違い	
6	5月25日	テーマに合わせたグループ撮影 （企画書作成～撮影）	企画力やチームワーク	
7	6月1日	スポーツイベント		
8	6月8日	カメラモード撮影 （スポーツ・夜景・風景など）	操作応用	
9	6月15日	ブツ撮りについてのレクチャー （アパレルアイテム・バッグの中身・その他商品など）	構図アングルの応用	
10	6月22日	ブツ撮りについてのレクチャー② （アパレルアイテム・バッグの中身・その他商品など）	構図アングルの応用	
11	6月29日	テストに向けた企画書作成・提出	基礎・応用	
12	7月6日	筆記テスト	基礎知識・基本操作	
13	7月13日	撮影実技テスト・講評・まとめ	基礎知識・基本操作	
14	7月20日	前期ショーリハーサル		

講師区分	常勤	講師名	飯田　紗綾	関係実務経験	t-press編集部にて 広報誌、パンフレット撮影

2023年度　東京服飾専門学校 教科別シラバス

授業科目名	学期	回数（限）	時間数	学科コース	学年	クラス
服飾史	前期	28	35	ファッション ビジネス科	1	A

選択区分	必修 or 選択	授業形態（講義/実習割合）	企業連携・企業講師
	必修	オンライン講義　100%	なし

科目概要	古代から現代までの洋服の歴史を知る。素材、形、構造など。
習得項目	知識として素材、構造を考える。下着など 賞品のデザインなど理解、説明に役立てる。
評価方法	レポート、課題の提出。 平常点 以上の平均点

授業計画

ステップ	（月/日）	学習内容・課題	習得目標	他授業連携
1	4月13日	衣服の起源	洋服とは	
2	4月20日	衣服の形　素材		
3	4月27日	古代エジプト、メソポタミア	布を巻く	
4	5月11日	古代ギリシャ、ローマ	大きな布	
5	5月18日	ビザンチン、ロマネスク	袖	
6	5月25日	ゴシック、ルネサンス	上衣下衣	
7	6月1日	バロック、ロココ	コルセット、バニエ	
8	6月8日	フランス革命、ナポレオン	古代風	
9	6月15日	近代、市民革命	産業革命	
10	6月22日	世紀末	下着	
11	6月29日	２０世紀	女性の社会進出	
12	7月6日	アールヌーボー、アール・デコ	現代服へ	
13	7月13日	１９３０年代	新しい素材	
14	7月20日	第二次世界大戦	ニュールック	

講師区分	常勤	講師名	古賀　由紀夫	関係実務経験	雑誌編集、デザイナー

2023年度　東京服飾専門学校 教科別シラバス

授業科目名	学期	回数（限）	時間数	学科コース	学年	クラス
PCワーク	前期	28	35	ファッション ビジネス科	1	A

選択区分	必修 or 選択	授業形態（講義/実習割合）	企業連携・企業講師
	必修	講義10%　・　実習90%	なし

科目概要	Windowsパソコンの操作方法と、ビジネスソフト（Word・Excel・Powerpoint）の使い方を習得する。 基本的なタイピングからWordを使用した文章作成技術を習得。 Excelを使用した表やグラフの作成技術を習得。 Powerpointを使用してプレゼンデータを作成し、効果的なプレゼンテーションを行うことを目指す。
習得項目	1.Windowsパソコンの基本操作やキーボードを使ったタイピング技術を身に付ける。 2.Wordによる基本的な文書作成を行えるようにする。 3.Excelを使用した表やグラフの作成、関数を使用した表の作成方法を身に付ける。 4.PowerPointを使用したプレゼンテーションデータを作成する。
評価方法	授業態度、課題提出、テストを行い採点する。 各項目に標準点を置き「履修意欲・習熟度」100ポイント「課題評価」100ポイント「技術試験」100ポイントとして、その平均値を算出し評価を行う。

授業計画

ステップ	（月/日）	学習内容・課題	習得目標	他授業連携
1	4月14日	Windowsパソコンの基本操作 タイピング練習	Windows基本操作の 理解	
2	4月21日	〈Word〉簡単なビジネス文書、表入り文書の 作成	Word基礎レベルの理解	
3	4月28日	〈Word〉画像入り文書の作成	↓	
4	5月12日	〈Word〉図形やテキストボックスを使用した 文書の作成	↓	
5	5月19日	〈Powerpoint〉 プレゼンデータの作成①	PowerPoint基礎レベル の理解	
6	5月26日	〈Powerpoint〉 プレゼンデータの作成②	↓	
7	6月2日	〈Powerpoint〉 プレゼン発表演習	↓	
8	6月9日	〈Excel〉簡単な表の作成、四則計算	Excel基礎レベルの 理解	
9	6月16日	〈Excel〉SUM、AVERAGE、MAX、MINを使用した 表の作成	↓	
10	6月23日	〈Excel〉表のグラフ化、グラフ編集	↓	
11	6月30日	テスト前総復習	前期内容の復習	
12	7月7日	期末テスト	↓	
13	7月14日	テスト返却、解説	前期内容、テストの振り返り	
14	7月21日	前期修了ショー		

講師区分	常勤	講師名	鶴本　望	関係実務経験	企業向けのWindows操作講習会実施や 入社研修でのIT技術指導の経験

2023年度　東京服飾専門学校 教科別シラバス

授業科目名	学期	回数（限）	時間数	学科コース	学年	クラス
PCワーク	後期Ⅰ	24	30	ファッション ビジネス科	1	A

選択区分	必修 or 選択	授業形態（講義/実習割合）	企業連携・企業講師
	必修	講義10%　・　実習90%	なし

科目概要	Windowsパソコンの操作方法と、ビジネスソフト（Word・Excel・Powerpoint）の使い方を習得する。 基本的なタイピングからWordを使用した文章作成技術を習得。 Excelを使用した表やグラフの作成技術を習得。 Powerpointを使用してプレゼンデータを作成し、効果的なプレゼンテーションを行うことを目指す。
習得項目	1.Windowsパソコンの基本操作やキーボードを使ったタイピング技術を身に付ける。 2.Wordによる基本的な文書作成を行えるようにする。 3.Excelを使用した表やグラフの作成、関数を使用した表の作成方法を身に付ける。 4.PowerPointを使用したプレゼンテーションデータを作成する。
評価方法	授業態度、課題提出、テストを行い採点する。 各項目に標準点を置き「履修意欲・習熟度」100ポイント「課題評価」100ポイント「技術試験」100ポイントとして、その平均値を算出し評価を行う。

授業計画

ステップ	（月/日）	学習内容・課題	習得目標	他授業連携
15	9月7日	〈Word〉描画ツールを使用した地図の作成	Word実務レベルの理解	
16	9月14日	〈Word〉ビジネス文書の校正		
17	9月21日	〈Word〉ヘッダー/フッターを使用した文書の作成		
18	9月28日	〈Word〉検定試験演習	MOS試験問題の把握	
19	10月5日	〈Excel〉計算式を組み込んだ見積書の作成	Excel実務レベルの理解	
20	10月12日	〈Excel〉レポート文書の作成		
21	10月19日	〈Excel〉応用関数① COUNTA関数、COUNTIF関数		
22	10月26日	〈Excel〉応用関数② IF関数、AVERAGEIF・SUMIF関数		
23	11月2日	〈Excel〉応用関数③　RANK関数		
24	11月9日	〈Excel〉応用関数④ VLOOKUP関数、書式設定関数		
25	11月16日	〈Excel〉テーブルの作成、書式設定		
26	11月30日	〈Excel〉散布図、グラフ演習		

講師区分	常勤	講師名	鶴本　望	関係実務経験	企業向けのWindows操作講習会実施や 入社研修でのIT技術指導の経験

2023年度　東京服飾専門学校 教科別シラバス

授業科目名	学期	回数（限）	時間数	学科コース	学年	クラス
PCワーク	後期Ⅱ	22	27.5	ファッション ビジネス科	1	A

選択区分	必修 or 選択	授業形態（講義/実習割合）	企業連携・企業講師
	必修	講義10%　・　実習90%	なし

科目概要	Windowsパソコンの操作方法と、ビジネスソフト（Word・Excel・Powerpoint）の使い方を習得する。 基本的なタイピングからWordを使用した文章作成技術を習得。 Excelを使用した表やグラフの作成技術を習得。 Powerpointを使用してプレゼンデータを作成し、効果的なプレゼンテーションを行うことを目指す。
習得項目	1.Windowsパソコンの基本操作やキーボードを使ったタイピング技術を身に付ける。 2.Wordによる基本的な文書作成を行えるようにする。 3.Excelを使用した表やグラフの作成、関数を使用した表の作成方法を身に付ける。 4.PowerPointを使用したプレゼンテーションデータを作成する。
評価方法	授業態度、課題提出、テストを行い採点する。 各項目に標準点を置き「履修意欲・習熟度」100ポイント「課題評価」100ポイント「技術試験」100ポイントとして、その平均値を算出し評価を行う。

授業計画

ステップ	（月/日）	学習内容・課題	習得目標	他授業連携
27	12月7日	検定試験演習	MOS試験問題の把握	
28	12月14日	〈PowerPoint〉 ビジネスプレゼン演習①	PowerPoint実務レベルの理解	
29	12月21日	〈PowerPoint〉 ビジネスプレゼン演習②	↓	
30	1月11日	〈PowerPoint〉 ビジネスプレゼン演習③	↓	
31	1月18日	テスト前総復習	後期内容の復習	
32	1月25日	期末テスト	↓	
33	2月1日	テスト返却、解説	後期内容、テストの 振り返り	
34	2月8日	〈PowerPoint〉 ビジネスプレゼン発表	PowerPoint実務レベルの理解	
35	2月15日	ファッションショー期間		
35	2月22日	ファッションショー期間		
35	2月29日	ファッションショー期間		

講師区分	常勤	講師名	鶴本　望	関係実務経験	企業向けのWindows操作講習会実施や 入社研修でのIT技術指導の経験

2023年度　東京服飾専門学校 教科別シラバス

授業科目名	学期	回数（限）	時間数	学科コース	学年	クラス
メイクアップ	後期Ⅰ	22	27.5	ファッション ビジネス科	1	A

選択区分	必修 or 選択	授業形態（講義/実習割合）	企業連携・企業講師
	必修	オンライン講義100%	なし

科目概要	メイクアップの基本的な知識、歴史やトレンドを知ることで、ファッションとの関連性を理解する。 オンラインでの授業となるため実践はできないが、スキンケアの基礎知識を始め、顔の部分ごとのメイク理論の認識を高め、実践テクニックの向上をはかる。
習得項目	１．フルメイクアップにおいての基礎知識 ２．ファッションテーマの創造力と企画力それに基づくメイクデザイン画の表現力 ３．　メイクアップトレンドの流れ ４．就職、就業時に通用する美容とメイクの知識
評価方法	各項目に標準点を置き「履修意欲・習熟度」100ポイント、「課題評価」100ポイント「筆記試験」100ポイントとして、 その平均値を算出し評価を行う。（出席率が75%未満、成績評価が60点未満の場合は補習の対象となる） 出席率が65%未満の場合は留年。

授業計画

ステップ	（月/日）	学習内容・課題	習得目標	他授業連携
1	9月4日	オリエンテーション　講師紹介、メイクアップ概論(歴史や目的などの解説)	メイクアップの概要	
2	9月11日	時代とメイク#1（1930～1970）３０、４０、５０、６０、７０年代	メイクアップの歴史	
3	9月25日	時代とメイク#2（1990～現在）　８０、９０、００、１０、２０年代	メイクアップの歴史	
4	10月2日	時代とメイク#3（メンズメイク/ジェンダーレス）	男性のメイクアップの歴史	
5	10月16日	基本のメイクテクニック#1 ベースメイク、アイブロウ	ベースメイク、眉毛のメイクの知識	
6	10月23日	基本のメイクテクニック#2 アイシャドウ・アイライン・ビューラー・マスカラ	アイメイクの知識	
7	10月30日	基本のメイクテクニック#3 チーク・リップ	チークとリップのメイクの知識	
8	11月6日	印象をつくるメイクアップ	印象をつくるメイクの方法	
9	11月13日	コレクションメイク	ハイブランドのランウェイショーからメイクとファッションの関係性を知る	
10	11月20日	顔型修正メイクについて	顔のつくりをメイクで変えるテクニック	
11	11月24日	スキンケアの基本	スキンケアについて	
12				
13				
14				

講師区分	非常勤	講師名	名取瞳・藤井奈穂 白鳥みや子・かすみきりこ	関係実務経験	ヘアメイクアーティストとして多数の広告や映像作品に携わる実績を持ち、技術の指導にあたる。

2023年度 東京服飾専門学校 教科別シラバス

授業科目名	学期	回数（限）	時間数	学科コース	学年	クラス
トレンド商品知識	後期Ⅰ	26	32.5	ファッション ビジネス科	1	A

選択区分	必修 or 選択	授業形態（講義/実習割合）	企業連携・企業講師
	必修	講義60%、実習40%	なし

科目概要	トレンドの仕組み、毎シーズンごとのトレンド分析、実店舗での展開商材分析 トレンドアイテムから業界の流れを汲み取る
習得項目	トレンドへの理解、アイテム知識の習得
評価方法	授業参加、課題提出 課題への理解力と期限内提出・取り組み姿勢・出欠状況、学期末テスト

授業計画

ステップ	（月/日）	学習内容・課題	習得目標	他授業連携
1	9月5日	トレンドとは？トレンドの流れ	トレンド理解	
2	9月12日	2023-24 A/W トレンド解説 店舗リサーチ課題説明	トレンド理解	
3	9月19日	関連動画 鑑賞	トレンド理解	
4	9月26日	店舗リサーチ	トレンド分析	
5	10月3日	店舗リサーチ課題 資料作成	トレンド分析	
6	10月10日	関連動画 鑑賞	トレンド理解	
7	10月17日	店舗リサーチ プレゼンテーション	資料制作	
8	10月24日	店舗リサーチ プレゼンテーション	プレゼンテーション能力	
9	10月31日	店舗リサーチ プレゼンテーション	プレゼンテーション能力	
10	11月7日	後期1 学期末テスト範囲説明	トレンド理解商品知識	
11	11月14日	関連動画 鑑賞	トレンド理解	
12	11月21日	後期1 学期末テスト実施	トレンド理解商品知識	
13	11月28日	テスト解答、解説、復習	トレンド理解商品知識	

講師区分	常勤	講師名	山内 講平	関係実務経験	プレス、バイヤー、スタイリストなど アパレル業界においての実務経験を持ち 実務で必要な事柄を指導する

2023年度 東京服飾専門学校 教科別シラバス

授業科目名	学期	回数（限）	時間数	学科コース	学年	クラス
トレンド商品知識	後期Ⅱ	22	27.5	ファッション ビジネス科	1	A

選択区分	必修 or 選択	授業形態（講義/実習割合）	企業連携・企業講師
	必修	講義60%、実習40%	なし

科目概要	トレンドの仕組み、毎シーズンごとのトレンド分析、実店舗での展開商材分析 トレンドアイテムから業界の流れを汲み取る
習得項目	トレンドへの理解、アイテム知識の習得
評価方法	授業参加、課題提出 課題への理解力と期限内提出・取り組み姿勢・出欠状況、学期末テスト

授業計画

ステップ	（月/日）	学習内容・課題	習得目標	他授業連携
1	12月5日	レイアウトの5原則 主要ブランド カナ表記とロゴ	レイアウト知識ブランド知識	
2	12月12日	2024 S/S トレンド解説	トレンド理解	
3	12月19日	トレンドアイテム分析	商品知識	
4	12月26日	東京のストリート史	80'S、90'S トレンド理解	
5	1月16日	ブランド研究 課題説明	ブランド知識	
6	1月23日	ブランド研究課題 資料作成	ブランド知識	
7	1月30日	ブランド研究課題 資料作成	ブランド知識	
8	2月6日	ブランド研究課題 提出、解説	ブランド知識	
9	2月13日	関連動画 鑑賞	トレンド理解	
10	2月20日	ショー週間		
11	2月27日	ショー週間		

講師区分	常勤	講師名	山内 講平	関係実務経験	プレス、バイヤー、スタイリストなど アパレル業界においての実務経験を持ち 実務で必要な事柄を指導する

2023年度 東京服飾専門学校 教科別シラバス

授業科目名	学期	回数（限）	時間数	学科コース	学年	クラス
英会話	後期Ⅱ	20	25	ファッション ビジネス科	1	A

選択区分	必修 or 選択	授業形態（講義/実習割合）	企業連携・企業講師
	必修	Texts, conversation, drawing, making	なし

科目概要	English for fashion: colours, patterns, materials, shopping, travel, trends, daily conversation
習得項目	English for fashion: colours, patterns, materials, shopping, travel, trends, daily conversation
評価方法	Course work, evaluation, test (if possible)

授業計画

ステップ	（月/日）	学習内容・課題	習得目標	他授業連携
1	12月4日	Introductions, bingo, greetings	Self-introduction	
2	12月11日	Verbs A, hobbies, apparel	Verb tenses	
3	12月18日	Verbs B, colour palette, patterns	Colours, patterns, verb tenses	
4	12月25日	Verbs C, materials, washing, apparel	Verb tenses, materials	
5	1月15日	Verbs D, coordination	Verb tenses, co-ordianting English	
6	1月22日	Mannequins, styles, trends	Fashion English vocabulaty	
7	1月29日	Fashion history, comparisons, adjectives, adverbs	Grammar, fashion history	
8	2月5日	International travel, fashion show	Travel English, fashion show vocabulary	
9	2月12日	Review, quiz, homework check	Review and check	

講師区分	非常勤	講師名	Stephen Spencer	関係実務経験	英語教師:NEC, NHK文化会館, Sojitsu, Onward, Chugai, Kokuyo, Kanematsu, Mitsubishi、JリーグFC東京ホームゲームのアナウンス及びオフィシャルホームページ翻訳、ことみせ の ライター

2023年度　東京服飾専門学校 教科別シラバス

授業科目名	学期	回数（限）	時間数	学科コース	学年	クラス
ファッション素材学	後期Ⅰ	24	30	ファッション ビジネス科	1	A

選択区分	必修 or 選択	授業形態（講義/実習割合）	企業連携・企業講師
	必修	オンライン講義　100%	なし

科目概要	アパレル製品の素材としての繊維、糸、布地を理解し、製作、販売、コーディネートに役立てる。 繊維、記事の名前を知る。 教科書　　わかりやすいアパレル素材の知識　　一見輝彦著
習得項目	繊維の分類、種類、特性を知る。 生地、製品の取り扱い方、特性を知る。
評価方法	レポート、提出物 平常点 以上の平均点

授業計画

ステップ	（月/日）	学習内容・課題	習得目標	他授業連携
1	9月7日	アパレル素材とは　１	衣服と素材	
2	9月14日	アパレル素材とは　２	↓	
3	9月21日	繊維の分類　名称　天然繊維	繊維を知る	
4	9月28日	繊維の分類、名称、化学繊維	↓	
5	10月5日	糸について	糸の構造	
6	10月12日	織物の三原組織	織物の構造	
7	10月19日	基本的な柄の名前	布の名前	
8	10月26日	秋冬の布　　素材の扱い	↓	
9	11月2日	編み物について	編み物の構造	
10	11月9日	裏地、芯地について	副資材	
11	11月16日	加工について	↓	
12	11月30日	デニムとジーンズ	身近な素材	

講師区分	常勤	講師名	古賀　由紀夫	関係実務経験	雑誌編集、デザイナー

2023年度　東京服飾専門学校 教科別シラバス

授業科目名	学期	回数（限）	時間数	学科コース	学年	クラス
ファッション素材学	後期Ⅱ	22	27.5	ファッション ビジネス科	1	A

選択区分	必修 or 選択	授業形態（講義/実習割合）	企業連携・企業講師
	必修	オンライン講義　100%	なし

科目概要	アパレル製品の素材としての繊維、糸、布地を理解し、製作、販売、コーディネートに役立てる。 繊維、記事の名前を知る。 教科書　　わかりやすいアパレル素材の知識　　一見輝彦著
習得項目	繊維の分類、種類、特性を知る。 生地、製品の取り扱い方、特性を知る。
評価方法	レポート、提出物 平常点 以上の平均点

授業計画

ステップ	（月/日）	学習内容・課題	習得目標	他授業連携
13	12月7日	レースについて	織物、編み物以外の素材	
14	12月14日	皮と毛皮	↓	
15	12月21日	不織布とフェルト	↓	
16	1月11日	染色とプリント	色をつける	
17	1月18日	繊維の見分け方	扱いかた	
18	1月25日	フォーマルウェア	素材の意味	
19	2月1日	スポーツウェア	ハイテク素材	
20	2月8日	新しい素材	新時代	

講師区分	常勤	講師名	古賀　由紀夫	関係実務経験	雑誌編集、デザイナー

2023年度　東京服飾専門学校 教科別シラバス

授業科目名	学期	回数（限）	時間数	学科コース	学年	クラス
就職ガイダンス	後期Ⅰ	24	30	ファッション ビジネス科	1	A

選択区分	必修 or 選択	授業形態（講義/実習割合）	企業連携・企業講師
	必修	オンライン講義　100%	なし

科目概要	就職へ向けて、仕事について理解を深め、就職活動の基本的な流れ・知識を身につける。 自己分析を行い、志望職種や志望企業を定める。
習得項目	・就職活動の基本的な流れ、スケジュールの把握 ・自己分析とそこから紐づく書類作成の準備 ・選考内容の基礎知識
評価方法	各項目に標準点を置き「履修意欲・習熟度」100ポイント、「課題評価」100ポイントとして、その平均値を算出し評価を行う。（出席率が75%未満、成績評価が60点未満の場合は補習の対象となる） 出席率が65%未満の場合は留年。

授業計画

ステップ	（月/日）	学習内容・課題	習得目標	他授業連携
1	9月1日	オリエンテーション（授業説明、就職活動の流れ、就職意識調査）		
2	9月8日	遠足		
3	9月15日	仕事とは？働き方とライフスタイル	働き方の理解	
4	9月22日	自己分析（性格テスト、マインドマップの作成）	自己理解	
5	9月29日	アパレル業界概論	業界の構造理解	
6	10月6日	アパレル職種研究	職種の理解	
7	10月13日	内定者からの就職体験談、就活スケジュール作成		
8	10月20日	運動会		
9	10月27日	求人情報の調べ方、就活ツール解説	求人票の見方の理解	
10	11月10日	オンライン選考対策（ツールの使い方）	オンラインツールの使用法の理解	
11	11月17日	自己PR対策	自己PRの作成	
12	11月24日	志望動機対策	志望動機の作成	

講師区分	常勤	講師名	久野　麻衣	関係実務経験	採用、新人研修

2023年度　東京服飾専門学校 教科別シラバス

授業科目名	学期	回数（限）	時間数	学科コース	学年	クラス
就職ガイダンス	後期Ⅱ	22	27.5	ファッション ビジネス科	1	A

選択区分	必修 or 選択	授業形態（講義/実習割合）	企業連携・企業講師
	必修	オンライン講義　100%	（株）アズノゥアズ

科目概要	就職へ向けて、仕事について理解を深め、就職活動の基本的な流れ・知識を身につける。 自己分析を行い、志望職種や志望企業を定める。
習得項目	・就職活動の基本的な流れ、スケジュールの把握 ・自己分析とそこから紐づく書類作成の準備 ・選考内容の基礎知識
評価方法	各項目に標準点を置き「履修意欲・習熟度」100ポイント、「課題評価」100ポイントとして、その平均値を算出し評価を行う。（出席率が75%未満、成績評価が60点未満の場合は補習の対象となる） 出席率が65%未満の場合は留年。

授業計画

ステップ	（月/日）	学習内容・課題	習得目標	他授業連携
1	12月1日	面接マナー、対策	面接マナー	
2	12月8日	企業説明会	アパレル企業の理解	（株）アズノゥアズ
3	12月15日	グループディスカッション	グループディスカッションの把握□	
4	12月22日	書類選考課題対策（過去事例の紹介、課題作成）	選考書類用文章作成	
5	1月12日	書類選考課題対策（課題フィードバック）	選考書類用文章作成	
6	1月19日	志望企業リストアップ	企業に関する知識	
7	1月26日	履歴書作成 1	履歴書作成のルール	
8	2月2日	履歴書作成 2	履歴書用文章作成	
9	2月8日	今後の就職活動	就活スケジュールの把握	
10	2月16日	ショー週間		
11	3月1日	ショー週間		

講師区分	常勤	講師名	久野　麻衣	関係実務経験	採用、新人研修

2023年度　東京服飾専門学校 教科別シラバス

授業科目名	学期	回数（限）	時間数	学科コース	学年	クラス
ファッションビジネス概論	前期	28	35	ファッション ビジネス科	1	A

選択区分	必修 or 選択	授業形態（講義/実習割合）	企業連携・企業講師
	必修	講義80%、実習20%	なし

科目概要	ファッションビジネス能力検定（11月実施）に向けて、ファッションビジネス知識を学習
習得項目	A.ファッションビジネス能力検定３級　（ビジネス知識/造形知識）の習得、同検定資格取得
評価方法	各項目に標準点を置き、「意欲・理解度」100ポイント/「課題評価」100ポイントとし、平均点算出評価（出席率が75%未満、成績評価60点未満の場合は補習対象とする）　出席率が65%未満の場合は留年対象となる。

授業計画

ステップ	（月/日）	学習内容・課題	習得目標	他授業連携
1	4月14日	ファッションビジネスの定義と特性	検定試験合格	
2	4月21日	ファッションデザインの定義		
3	4月28日	消費者行動とライフスタイル		
4	5月12日	コーディネートの基礎知識		
5	5月19日	アパレル産業の概要		
6	5月26日	アパレルアイテムの知識１		
7	6月2日	マーケットリサーチ		
8	6月9日	マーケティングの基礎知識		
9	6月16日	アパレルアイテムの知識２		
10	6月23日	マーチャンダイジングの基礎知識		
11	6月30日	アパレルアイテムの知識３		
12	7月7日	流通に関する基礎知識		
13	7月14日	前期振り返り　過去問題		
14	7月21日	期末テスト　結果確認		

講師区分	常勤	講師名	石川　誠	関係実務経験	国内外ブランドでの営業・ MD実務と営業部長、MD部長を歴任

2023年度　東京服飾専門学校 教科別シラバス

授業科目名	学期	回数（限）	時間数	学科コース	学年	クラス
ファッションビジネス概論	後期Ⅰ	24	30	ファッション ビジネス科	1	A

選択区分	必修 or 選択	授業形態（講義/実習割合）	企業連携・企業講師
	必修	講義80%、実習20%	なし

科目概要	ファッションビジネス能力検定（11月実施）に向けて、ファッションビジネス知識を学習
習得項目	A.ファッションビジネス能力検定３級　（ビジネス知識/造形知識）の習得、同検定資格取得
評価方法	各項目に標準点を置き、「意欲・理解度」100ポイント/「課題評価」100ポイントとし、平均点算出評価（出席率が75%未満、成績評価60点未満の場合は補習対象とする）　出席率が65%未満の場合は留年対象となる。

授業計画

ステップ	（月/日）	学習内容・課題	習得目標	他授業連携
1	9月1日	期末テスト　結果確認	検定試験合格	
2	9月8日	ファッション産業の職種概要		バス遠足
3	9月15日	会社に関する基礎知識		
4	9月22日	デザイン画と製品図の理解１		
5	9月29日	デザイン画と製品図の理解２		
6	10月6日	服飾造形に関する基礎知識１		
7	10月13日	服飾造形に関する基礎知識２		
8	10月20日	ファッションビジネス過去問題		運動会
9	10月27日	造形小テスト過去問題		
10	11月10日	造形小テスト過去問題		
11	11月17日	結果振り返り　復習		
12	11月24日	検定試験		

講師区分	常勤	講師名	石川　誠	関係実務経験	国内外ブランドでの営業・ MD実務と営業部長、MD部長を歴任

2023年度　東京服飾専門学校 教科別シラバス

授業科目名	学期	回数（限）	時間数	学科コース	学年	クラス
ファッションビジネス概論	後期Ⅱ	22	27.5	ファッション ビジネス科	1	A

選択区分	必修 or 選択	授業形態（講義/実習割合）	企業連携・企業講師
	必修	講義80%、実習20%	なし

科目概要	ビジネス環境（商業施設・百貨店・セレクトショップ）の特性と違いを理解・認識
習得項目	各環境における店舗形成・ブランド形成・販売方法の違い　　仮説条件を設け、接客を経験、販売スタッフという職責への理解を深める。新シーズン（立ち上がり）の売場環境のリサーチ・学習
評価方法	各項目に標準点を置き、「意欲・理解度」100ポイント/「課題評価」100ポイントとし、平均点算出評価（出席率が75%未満、成績評価60点未満の場合は補習対象とする）　出席率が65%未満の場合は留年対象となる。

授業計画

ステップ	（月/日）	学習内容・課題	習得目標	他授業連携
1	12月1日	検定結果　振り返り		
2	12月8日	リサーチ①：商業施設	マーケット環境の理解	
3	12月15日	リサーチ②：セレクトショップ	マーケット環境の理解	
4	12月22日	リサーチ③：ブティック	マーケット環境の理解	
5	1月12日	リサーチ結果　共有		
6	1月19日	ミステリーショッピング経験①	店舗・接客経験	
7	1月26日	ミステリーショッピング経験②	店舗・接客経験	
8	2月2日	フィードバック　共有		
9	2月9日	春夏立ち上り　リサーチ①	情報収集・観察能力	
10	2月16日	春夏立ち上り　リサーチ②	情報収集・観察能力	
11	3月1日	トレンドマップ　作成・提出		

講師区分	常勤	講師名	石川　誠	関係実務経験	国内外ブランドでの営業・ MD実務と営業部長、MD部長を歴任

2023年度　東京服飾専門学校 教科別シラバス

授業科目名	学期	回数（限）	時間数	学科コース	学年	クラス
ファッションジャーナリズム	前期	28	35	ファッションビジネス科	2	A

選択区分	必修 or 選択	授業形態（講義/実習割合）	企業連携・企業講師
	必修	講義50%／実習50%	有

科目概要	ファッション雑誌についての造詣を深める講義を行うとともに、実際に学生たちが自分の手によって、雑誌のページ制作を行う。誌名の決定、コンテンツの方向性、各特集やページのテーマ設定から始まり、入稿データの作成までを行い、通年の成果物として、１冊の雑誌が出来上がる達成感を習得する。
習得項目	●誌名や特集テーマの企画を編集会議で練った結果をレポート提出　●現場の最前線で活躍するカメラマン／スタイリスト／ヘア＆メイクをゲストに招き、講義を受けた内容をレポート提出　●台割／絵コンテの提出　●制作物（写真、取材記事、レイアウト、入稿データ等々、成果物の提出）
評価方法	上記提出物の内容が、講義内容を正確に習得できているかを、１００点満点で採点。理解度の不足部分について、点数を減算することで評価を行う。

授業計画

ステップ	（月/日）	学習内容・課題	習得目標	他授業連携
1	4月17日	自分の好きな雑誌を見つける	雑誌のジャンルを理解する。	
2	4月24日	どんな雑誌を作るか決める	コンテンツの方向性の理解。	
3	5月1日	自分が担当したいテーマを決める	同上	
4	5月8日	編集会議①	企画力の醸成	
	5月15日	編集会議②	同上	
5	5月22日	ファッション写真の撮り方①	絞りとシャッタースピードの理解	ゲスト講師／増田勝行
	5月29日	ファッション写真の撮り方② ゲスト講師／増田勝行	フレームワークの理解	同上
6	6月5日	ファッションスタイリングを学ぶ	「可愛いスタイリング」って？	ゲスト講師／今村仁美
7	6月12日	ヘア＆メイクの基礎を学ぶ	映えるヘア＆メイクの作り方	ゲスト講師／美舟（仮）
8	6月19日	台割の作成を学ぶ	制作物全体を俯瞰して見ることを習得する	
9	6月26日	取材／撮影の段取りを学ぶ	スケジューリングの大切さを学ぶ	他の学科へのスケジュール打診
10	7月3日	絵コンテの作成①	作りたいものを事前にイメージすることの大切さを学ぶ	
	7月10日	絵コンテの作成②	同上	

講師区分	非常勤	講師名	細野　敏彦	関係実務経験	ミス家庭画報・副編集長/ LEON編集長補佐/ar編集長/主婦と生活社取締役

2023年度　東京服飾専門学校 教科別シラバス

授業科目名	学期	回数（限）	時間数	学科コース	学年	クラス
ファッションジャーナリズム	後期Ⅰ	22	27.5	ファッションビジネス科	2	A

選択区分	必修 or 選択	授業形態（講義/実習割合）	企業連携・企業講師
	必修	講義50%／実習50%	有

科目概要	ファッション雑誌についての造詣を深める講義を行うとともに、実際に学生たちが自分の手によって、雑誌のページ制作を行う。誌名の決定、コンテンツの方向性、各特集やページのテーマ設定から始まり、入稿データの作成までを行い、通年の成果物として、１冊の雑誌が出来上がる達成感を習得する。
習得項目	●誌名や特集テーマの企画を編集会議で練った結果をレポート提出　●現場の最前線で活躍するカメラマン／スタイリスト／ヘア＆メイクをゲストに招き、講義を受けた内容をレポート提出　●台割／絵コンテの提出　●制作物（写真、取材記事、レイアウト、入稿データ等々、成果物の提出）
評価方法	上記提出物の内容が、講義内容を正確に習得できているかを、１００点満点で採点。理解度の不足部分について、点数を減算することで評価を行う。

授業計画

ステップ	（月/日）	学習内容・課題	習得目標	他授業連携
1	9月4日	取材／撮影のアポ取り	段取の大切さ	アパレル科、スタイリスト科、モデル科
2	9月11日	香盤表の作成	全スタッフ共通認識の大切さ	同上
3	9月25日	取材／撮影に出かける①	現場作業の大変さ	同上
	10月2日	取材／撮影に出かける②	同上	同上
	10月16日	取材／撮影に出かける③	同上	同上
4	10月23日	集めた素材の整理／セレクト①	整理整頓／取捨選択	
	10月30日	集めた素材の整理／セレクト②	同上	
	11月6日	集めた素材の整理／セレクト③	同上	
5	11月13日	レイアウト＆デザインのポイント	グラフィックデザインの基本	ゲスト講師／グラフィックデザイナー（未定）
6	11月20日	ILLUSTRATORを使う①	マック実習	
	11月27日	ILLUSTRATORを使う②	同上	

講師区分	非常勤	講師名	細野　敏彦	関係実務経験	ミス家庭画報・副編集長/ LEON編集長補佐/ar編集長/主婦と生活社取締役

2023年度　東京服飾専門学校 教科別シラバス

授業科目名	学期	回数（限）	時間数	学科コース	学年	クラス
ファッションジャーナリズム	後期Ⅱ	20	25	ファッションビジネス科	2	A

選択区分	必修 or 選択	授業形態（講義/実習割合）	企業連携・企業講師
	必修	講義50%／実習50%	なし

科目概要	ファッション雑誌についての造詣を深める講義を行うとともに、実際に学生たちが自分の手によって、雑誌のページ制作を行う。誌名の決定、コンテンツの方向性、各特集やページのテーマ設定から始まり、入稿データの作成までを行い、通年の成果物として、１冊の雑誌が出来上がる達成感を習得する。
習得項目	●誌名や特集テーマの企画を編集会議で練った結果をレポート提出　●現場の最前線で活躍するカメラマン／スタイリスト／ヘア＆メイクをゲストに招き、講義を受けた内容をレポート提出　●台割／絵コンテの提出　●制作物（写真、取材記事、レイアウト、入稿データ等々、成果物の提出）
評価方法	上記提出物の内容が、講義内容を正確に習得できているかを、１００点満点で採点。理解度の不足部分について、点数を減算することで評価を行う。

授業計画

ステップ	（月/日）	学習内容・課題	習得目標	他授業連携
1	12月4日	デザイン・入稿データの作成①	DTPデータ作成	校内DTPチーム
	12月11日	デザイン・入稿データの作成②	同上	同上
	12月18日	デザイン・入稿データの作成③	同上	同上
2	12月25日	校正①	校正の大切さ	
	1月15日	校正②	同上	
3	1月22日	最終データの作成→入稿	最終確認の大切さ	
4	1月29日	雑誌流通の仕組み	雑誌業界の商流	
5	2月5日	Amazon PODについて	新しい雑誌流通の形	

講師区分	非常勤	講師名	細野　敏彦	関係実務経験	ミス家庭画報・副編集長/ LEON編集長補佐/ar編集長/主婦と生活社取締役

2023年度 東京服飾専門学校 教科別シラバス

授業科目名	学期	回数（限）	時間数	学科コース	学年	クラス
バイヤー演習	前期	28	35	ファッションビジネス科	2	A

選択区分	必修 or 選択	授業形態（講義/実習割合）	企業連携・企業講師
	必修	講義80%、実習20%	なし

科目概要	バイヤーの位置付けや仕組みを理解し、バイヤー職全般の業務基礎知識を習得
習得項目	職業理解と、職種に必要な各種スキルの習得。トレンドの汲み取り方、バイヤーに必要な商品知識を深める。
評価方法	授業参加、課題提出 課題への理解力と期限内提出・取り組み姿勢・出欠状況

授業計画

ステップ	（月/日）	学習内容・課題	習得目標	他授業連携
1	4月11日	授業説明/バイヤーの種類、 多岐に渡る仕事内容の解説	職業理解	
2	4月18日	トレンドとは? トレンドの作られ方、流れ	トレンド理解	
3	4月25日	5大コレクション解説 主要ブランド解説	ブランド知識	
4	5月9日	セレクトショップにおける バイヤー職	セレクトショップとオリジナルの違いが分かる	
5	5月16日	セレクトショップリサーチ課題説明	リサーチ、レポートスキル	
6	5月23日	セレクトショップリサーチ課題 リサーチ日	リサーチ、レポートスキル	
7	5月30日	セレクトショップリサーチ課題 プレゼンテーション	プレゼンテーション能力	
8	6月6日	セレクトショップリサーチ課題 プレゼンテーション	プレゼンテーション能力	
9	6月13日	用語とオーダー時の注意点	専門･業界用語の理解	
10	6月20日	日本と世界の展示会 合同展とは	アパレル基本知識	
11	6月27日	ブランド研究 課題説明	ブランドの歴史を学ぶ	
12	7月4日	ブランド カナ表記 小テスト	ブランド知識	
13	7月11日	ブランド研究 課題 プレゼンテーション	ブランド知識	
14	45125	ブランド研究 課題 プレゼンテーション	ブランド知識	

講師区分	常勤	講師名	山内 講平	関係実務経験	プレス、バイヤー、スタイリストなど アパレル業界においての実務経験を持ち 実務で必要な事柄を指導する

2023年度　東京服飾専門学校 教科別シラバス

授業科目名	学期	回数（限）	時間数	学科コース	学年	クラス
バイヤー演習	後期Ⅰ	26	32.5	ファッションビジネス科	2	A

選択区分	必修 or 選択	授業形態（講義/実習割合）	企業連携・企業講師
	必修	講義80%、実習20%	なし

科目概要	バイヤーの位置付けや仕組みを理解し、バイヤー職全般の業務基礎知識を習得
習得項目	職業理解と、職種に必要な各種スキルの習得。トレンドの汲み取り方、バイヤーに必要な商品知識を深める。
評価方法	授業参加、課題提出 課題への理解力と期限内提出・取り組み姿勢・出欠状況

授業計画

ステップ	（月/日）	学習内容・課題	習得目標	他授業連携
1	9月5日	前期の復習 サステナブル、アップサイクル	サステナブルへの理解	
2	9月12日	サステナブル ブランドリサーチ 課題説明	ブランド知識	
3	9月19日	サステナブル ブランドリサーチ 課題 プレゼンテーション	ブランド知識	
4	9月26日	サステナブル ブランドリサーチ 課題 プレゼンテーション	ブランド知識	
5	10月3日	古着屋バイヤーの仕事 古物商とは	職業理解	
6	10月10日	ミリタリーウェア ジーンズ	商品知識	
7	10月17日	ブランド古着バイヤーの仕事	職業理解	
8	10月24日	中古相場の見方 名作アイテム、真贋確認	中古相場 理解	
9	10月31日	買取業務/査定方法/採寸方法	査定方法、採寸方法	
10	11月7日	ライフスタイル提案型 セレクトショップ企画 課題説明	企画書作成 デザインソフトスキル	
11	11月14日	ライフスタイル提案型 セレクトショップ企画 課題プレゼンテーション	プレゼンテーション能力	
12	11月21日	ライフスタイル提案型 セレクトショップ企画 課題プレゼンテーション	プレゼンテーション能力	
13	11月28日	復習とまとめ	商品知識	

講師区分	常勤	講師名	山内 講平	関係実務経験	プレス、バイヤー、スタイリストなど アパレル業界においての実務経験を持ち 実務で必要な事柄を指導する

2023年度　東京服飾専門学校 教科別シラバス

授業科目名	学期	回数（限）	時間数	学科コース	学年	クラス
プレス実習	後期Ⅱ	22	27.5	ファッションビジネス科	2	A

選択区分	必修 or 選択	授業形態（講義/実習割合）	企業連携・企業講師
	必修	演習40%　講義60%	なし

科目概要	ファッション業界に置けるプレス・PRの職種知識取得と資料作成
習得項目	プレスの仕事とは、職業理解、SNSにおけるPR活用など
評価方法	各項目に標準点を置き「履修意欲・習熟度」、「課題評価」、その平均値を算出し評価を行う。

授業計画

ステップ	（月/日）	学習内容・課題	習得目標	他授業連携
1	12月5日	プレスについて	プレスの仕事について知る	
2	12月12日	ファッション誌、出版社	ファッション誌について知識習得	
	12月19日	課題	↓	
3	12月26日	プレス用語（カラー略語表記、アイテム略語表記）	略語知識習得	
	1月16日	課題	↓	
4	1月23日	冠婚葬祭	冠婚葬祭TPOに関して	
	1月30日	課題	↓	
5	2月6日	テスト		
6	2月13日	復習		
7	2月20日	ファッションショー期間		
	2月27日	↓		

講師区分	常勤	講師名	伏見　幸恵	関係実務経験	PR会社にてプレスを経験しアパレルにおける広報業務全般（プレス、スタイリスト業務、など）の経験があり。実務経験に基づいて専門知識習得、就職活動に活かした授業を展開する

2023年度　東京服飾専門学校 教科別シラバス

授業科目名	学期	回数（限）	時間数	学科コース	学年	クラス
SNS/Webマーケティング・EC演習	前期	28	35	ファッションビジネス科	2	A

選択区分	必修 or 選択	授業形態（講義/実習割合）	企業連携・企業講師
	必修	実習50% 講義50%	なし

科目概要	広告、SNS、SEOなどのWEBマーケティングの種類と各特色を理解し、効果的な運用を行える力を身につける。 各素材を作成するために必要な撮影、PCスキルの向上を目指す。
習得項目	Illustrator、Photoshopなどのソフトやアプリを使用した素材作成技術の習得。 ブランド、商品などを魅力的に見せる企画力。 アルゴリズム、インサイトなど、データを基にした分析力。 ライブ配信など、オンラインでの顧客へ向けたプレゼンテーション力。
評価方法	各項目に標準点を置き、「履修意欲・習熟度」１００ポイント、「テスト評価」１００ポイント、「課題評価」１００点ポイントとして、その平均値を算出し評価を行う。（出席率７５％未満、成績評価が６０点未満の場合は補習の対象となり、出席率が６５％未満の場合は留年。

授業計画

ステップ	（月/日）	学習内容・課題	習得目標	他授業連携
	4月17日	自己紹介、授業説明、WEBマーケ概要 Instagram導入	Instagramの基本を理解	
	4月24日	投稿の種類 クラスアカウント作成	Instagramの基本を理解	
	5月1日～5月8日	Instagram運用（グループでのクラスアカウント、投稿企画、プレゼン）	Instagram運用のフレームワークを学ぶ	
	5月15日	アルゴリズム、ハッシュタグ	Instagramの応用を理解	
	5月22日～5月2	Instagram運用(グループでのクラスアカウント、投稿企画作成)	Instagram運用を学ぶ	
	6月5日	Instagramインサイト分析、運用検証	インサイト数値の理解	
	6月12日	ECの基礎	ECの基本を理解	
	6月19日	EC制作会社担当者による講義		
	6月26～7月3日	インフルエンサーマーケティング （インフルエンサー起用企画、プレゼン）	インフルエンサーマーケティングの理解	
	7月10日	前期テスト		

講師区分	非常勤	講師名	雨宮　正芳	関係実務経験	イラストレーター及び、雑誌・webメディアの編集・ライター実務経験者

2023年度　東京服飾専門学校 教科別シラバス

授業科目名	学期	回数（限）	時間数	学科コース	学年	クラス
SNS/Webマーケティング･EC演習	後期Ⅰ	22	27.5	ファッションビジネス科	2	A

選択区分	必修 or 選択	授業形態（講義/実習割合）	企業連携・企業講師
	必修	実習50% 講義50%	なし

科目概要	広告、SNS、SEOなどのWEBマーケティングの種類と各特色を理解し、効果的な運用を行える力を身につける。 各素材を作成するために必要な撮影、PCスキルの向上を目指す。
習得項目	Illustrator、Photoshopなどのソフトやアプリを使用した素材作成技術の習得。 ブランド、商品などを魅力的に見せる企画力。 アルゴリズム、インサイトなど、データを基にした分析力。 ライブ配信など、オンラインでの顧客へ向けたプレゼンテーション力。
評価方法	各項目に標準点を置き、「履修意欲・習熟度」１００ポイント、「テスト評価」１００ポイント、「課題評価」１００点ポイントとして、その平均値を算出し評価を行う。（出席率７５％未満、成績評価が６０点未満の場合は補習の対象となり、出席率が６５％未満の場合は留年。

授業計画

ステップ	（月/日）	学習内容・課題	習得目標	他授業連携
1	9月4日	キュレーションメディアInstagram運用(グループでのアカウント、投稿企画、プレゼン)	Instagram運用を学ぶ(応用)	
	9月11日	↓	↓	
2	9月25日	Instagram運用(グループでのクラスアカウント、投稿企画作成)	Instagram運用を学ぶ(応用)	
	10月2日	↓	↓	
3	10月16日	Instagramインサイト分析、運用検証	インサイト数値の理解	
	10月23日	基本用語		
4	10月30日	SEO、コンテンツマーケティング (WEBコンテンツ企画、SNSコンテンツの作成)		
5	11月6日	ライブコマース (アパレルブランドのインスタライ活用、配信グループワーク、発表)	現状のライブコマースを学ぶ	
	11月13日	↓	↓	
6	11月20日	動画マーケティング(TikTok、Reels) TikTok運用(グループでのクラスアカウント、投稿企画、プレゼン)	TikTokの基本を理解	
	11月27日	↓	↓	

講師区分	非常勤	講師名	雨宮　正芳	関係実務経験	イラストレーター及び、雑誌・webメディアの編集・ライター実務経験者

2023年度 東京服飾専門学校 教科別シラバス

授業科目名	学期	回数（限）	時間数	学科コース	学年	クラス
SNS/Webマーケティング･EC演習	後期Ⅱ	20	25	ファッションビジネス科	2	A

選択区分	必修 or 選択	授業形態（講義/実習割合）	企業連携・企業講師
	必修	実習50% 講義50%	なし

科目概要	広告、SNS、SEOなどのWEBマーケティングの種類と各特色を理解し、効果的な運用を行える力を身につける。 各素材を作成するために必要な撮影、PCスキルの向上を目指す。
習得項目	Illustrator、Photoshopなどのソフトやアプリを使用した素材作成技術の習得。 ブランド、商品などを魅力的に見せる企画力。 アルゴリズム、インサイトなど、データを基にした分析力。 ライブ配信など、オンラインでの顧客へ向けたプレゼンテーション力。
評価方法	各項目に標準点を置き、「履修意欲・習熟度」１００ポイント、「テスト評価」１００ポイント、「課題評価」１００点ポイントとして、その平均値を算出し評価を行う。（出席率７５％未満、成績評価が６０点未満の場合は補習の対象となり、出席率が６５％未満の場合は留年。

授業計画

ステップ	（月/日）	学習内容・課題	習得目標	他授業連携
1	12月4日	動画マーケティング(TikTok、Reels) TikTok運用(グループでのクラスアカウント、投稿企画、プレゼン)	TikTokの基本を理解	
2	12月11日	TikTok運用(グループでのクラスアカウント、投稿企画作成)	TikTok運用のフレームワークを学ぶ	
	12月18日	↓	↓	
	12月25日	↓	↓	
3	1月15日	TikTokインサイト分析、運用検証	インサイト数値の理解	
	1月22日	↓	↓	
	1月29日	後期テスト		
	2月5日	FS期間		
	2月19日	↓		
	2月26日	↓		

講師区分	非常勤	講師名	雨宮　正芳	関係実務経験	イラストレーター及び、雑誌・webメディアの編集・ライター実務経験者

2023年度 東京服飾専門学校 教科別シラバス

授業科目名	学期	回数（限）	時間数	学科コース	学年	クラス
マーケティング	前期	28	35	ファッションビジネス科	2	A

選択区分	必修 or 選択	授業形態（講義/実習割合）	企業連携・企業講師
	必修	講義50%　実技50%	なし

科目概要	自身の経験をもとに、SHOP STAFF、MD,BUYYERの経験をもとに、今の時代に求められている事を知ってもらう。実際行ったことの経験をもとに、成功したこと、失敗したことを伝えること。
習得項目	アパレル業界での仕事の全容を理解し、自分がどのような仕事を目指していくべきなのかを理解してもらいたいと思っています。
評価方法	授業70%TEST30%で評価

授業計画

ステップ	（月/日）	学習内容・課題	習得目標	他授業連携
1	4月12日	授業内容説明、自己紹介		
2	4月19日	D2Cについて+ディベート	アパレル業界の現状を知る	
3	4月26日	D2Cについて＋D2Cの今後について＋ディベート	アパレル業界の現状を知る	
4	5月10日	お店で授業＋リサーチ	マーケットリサーチ	
5	5月17日	お店で授業＋リサーチ	マーケットリサーチ	
6	5月24日	企画書を作ろうヒントの資料＋企画書を作ろう	発想力	
7	5月31日	企画書を作ろう(資料作成)	発想力	
8	6月7日	企画書を作ろう（発表）	発想力	
9	6月14日	企画書を作ろう（発表）	発想力	
10	6月21日	海外出張の為自習予定		
11	6月28日	海外出張の為自習予定		
12	7月5日	コラボレーション	発想力	
13	7月12日	コラボレーション(発表)	発想力	

講師区分	非常勤	講師名	須山　博加	関係実務経験	アパレルショップにて販売、MD/バイヤーを経て SHOPを開業、現在ディレクター

2023年度 東京服飾専門学校 教科別シラバス

授業科目名	学期	回数（限）	時間数	学科コース	学年	クラス
マーケティング	後期Ⅰ	26	32.5	ファッションビジネス科	2	A

選択区分	必修 or 選択	授業形態（講義/実習割合）	企業連携・企業講師
	必修	講義50%　実技50%	なし

科目概要	自身の経験をもとに、SHOP STAFF、MD,BUYYERの経験をもとに、今の時代に求められている事を知ってもらう。実際行ったことの経験をもとに、成功したこと、失敗したことを伝えること。
習得項目	アパレル業界での仕事の全容を理解し、自分がどのような仕事を目指していくべきなのかを理解してもらいたいと思っています。
評価方法	授業70%TEST30%で評価

授業計画

ステップ	（月/日）	学習内容・課題	習得目標	他授業連携
1	9月6日	SHOPをつくるには？（店舗形態を理解する）	数字、発想力、リサーチ能力	
2	9月13日	SHOPをつくるには？（立地、規模）	数字、発想力、リサーチ能力	
3	9月20日	SHOPコンセプト	数字、発想力、リサーチ能力	
4	9月27日	ショップ形態　百貨店、ファッションビル、ショッピングセンター	数字、発想力、リサーチ能力	
5	10月4日	SHOP構成　利益構造の確立	数字、発想力、リサーチ能力	
6	10月11日	マーケティング　SHOPリサーチ	数字、発想力、リサーチ能力	
7	10月18日	SHOPリサーチ	数字、発想力、リサーチ能力	
8	10月25日	SHOPリサーチ	数字、発想力、リサーチ能力	
9	11月1日	プレゼン準備	数字、発想力、リサーチ能力	
10	11月8日	プレゼンテーション①	数字、発想力、リサーチ能力	
11	11月15日	プレゼンテーション②	数字、発想力、リサーチ能力	
12	11月22日	プロモーションの授業	数字、発想力、リサーチ能力	
13	11月29日	プロモーションの授業	数字、発想力、リサーチ能力	

講師区分	非常勤	講師名	須山　博加	関係実務経験	アパレルショップにて販売、MD/バイヤーを経て SHOPを開業、現在ディレクター

2023年度 東京服飾専門学校 教科別シラバス

授業科目名	学期	回数（限）	時間数	学科コース	学年	クラス
マーケティング	後期Ⅱ	22	27.5	ファッションビジネス科	2	A

選択区分	必修 or 選択	授業形態（講義/実習割合）	企業連携・企業講師
	必修	講義50%　実技50%	なし

科目概要	自身の経験をもとに、SHOP STAFF、MD,BUYYERの経験をもとに、今の時代に求められている事を知ってもらう。実際行ったことの経験をもとに、成功したこと、失敗したことを伝えること。
習得項目	アパレル業界での仕事の全容を理解し、自分がどのような仕事を目指していくべきなのかを理解してもらいたいと思っています。
評価方法	授業70%TEST30%で評価

授業計画

ステップ	（月/日）	学習内容・課題	習得目標	他授業連携
1	12月6日	リサーチ②　2BB	数字、発想力、リサーチ能力	
2	12月13日	リサーチ②　2BA	数字、発想力、リサーチ能力	
3	12月20日	リサーチ②　2BA	数字、発想力、リサーチ能力	
4	1月10日	後期　2TEST　プレゼンテーション①	数字、発想力、リサーチ能力	
5	1月17日	海外出張の為自習予定		
6	1月24日	海外出張の為自習予定		
7	1月31日	未定		

講師区分	非常勤	講師名	須山　博加	関係実務経験	アパレルショップにて販売、MD/バイヤーを経て SHOPを開業、現在ディレクター

2023年度　東京服飾専門学校 教科別シラバス

授業科目名	学期	回数（限）	時間数	学科コース	学年	クラス
販売実務演習	前期	28	35	ファッションビジネス科	2	A

選択区分	必修 or 選択	授業形態（講義/実習割合）	企業連携・企業講師
	必修	講義４/実習６	株式会社エス・グルーヴ

科目概要	・現代の販売員に求められる要素や販売員が置かれる立場、接客する上で必要な心構え、知識を学ぶ。 ・実際に店頭で必要な立ち振る舞い、表情、所作、接客トーク法をお客様目線になって考え どの職種も入社時に販売職は通る道であるため、卒業後、販売員として即戦力となれるようなスキルを学ぶ。
習得項目	・お客様に選ばれ、満足、感動を与えられるスタッフになるための心構えの習得、お客様心理の理解 ・1年次より、より実践的な接客ロールプレイング実技を通し、知識としてだけでなく体で覚え、自身で実践し お客様役に対し、自分の言葉で接客できるトークスキル
評価方法	学期末にロールプレイング実演を実技テストとして実施。主に実技のため、筆記テストなし 授業内で教授した内容のチェックシート(各項目に配点あり)を作成、 お客様役演者(外部)に対し5分間接客し、チェックシートを使用し100点満点で評価する。

授業計画

ステップ	（月/日）	学習内容・課題	習得目標	他授業連携
1	4月12日	オリエンテーション どんな販売員になりたい？	お客様目線での “良い販売員”の理解	
	4月19日	接遇者としてのマナー 顧客心理について	マナー5原則、 店頭でのお客様の心理変化理解	
	4月26日	CS、第一印象の重要性について 感じが良い悪いとは？	感じの良さはなにで判断 されるかの理解	
2	5月10日	GW 課題発表(接客体験レポート) 実技 お出迎え、ファーストアプローチ	店頭でそのまま使える 所作の習得	
	5月17日	実技 動的待機、お見送り	同上	
	5月24日	接客ロープレ全国大会動画視聴 動画ワーク	全国上位レベルの 接客トークスキルを知る	
3	5月31日	ニーズの引き出し方、会話の続け方	初対面の相手とも会話 が続くスキル習得、反復練習	
	6月7日	商品のメリットピックアップ 商品提案トーク練習	相手に響く商品提案 の考え方の理解	
	6月14日	期末試験エントリーシート作成 (MacBook、パワポ使用)	私物を自社商品に見立てた 商品紹介資料作成	
4	6月21日	お出迎え～お見送りまで 通し接客練習	当授業の内容の復習、 実践、反復	
	6月28日	実技テスト予行練習	試験順にテストと 同ルールで一人ずつ実践	
	7月5日	実技テスト本番		
	7月12日	実技テスト結果返却、学期末まとめ オリエンテーション	当授業を終え、改めて どんな販売員が求められる か？ ディスカッション	

講師区分	非常勤	講師名	山川　祐梨絵	関係実務経験	販売員経験を経て現在販売代行会社にて店長兼 社内新人研修担当をしている。 実務者の視点から現場のトレーニングや評価方法をもとに、 技術指導を行う。

2023年度　東京服飾専門学校 教科別シラバス

授業科目名	学期	回数（限）	時間数	学科コース	学年	クラス
販売士	後期Ⅰ	26	32.5	ファッションビジネス科	2	A

選択区分	必修 or 選択	授業形態（講義/実習割合）	企業連携・企業講師
	必修	講義７/実習3	一般社団法人日本販売士協会

科目概要	アパレル・ファッション業界で多様化した顧客ニーズを的確に捉え、豊富な商品知識や接客技術を武器に、顧客に合った商品を提供できることを目標に学ぶ。商品開発、企画、仕入れ、販売、陳列、物流など幅広い内容の基本を学ぶ。希望者は販売士３級受験指導。（インターネット受験で試験日程は本人希望日）
習得項目	1.小売業の類型（小売業の組織、店舗形態）、2.マーチャンダイジング（商品計画、販売計画、仕入計画、価格設定、在庫・販売管理）、3.ストアオペレーション（包装技術実技、ディスプレイ、商品包装・ラッピング実技）、　4.マーケティング（商圏と出店計画）、5.販売・経営管理（計数管理と店舗管理）
評価方法	各項目に標準点を置き「定期テスト成績」100ポイント、「課題の評価」100ポイント、「実技等の採点」100ポイントとして、その平均値を算出し評価を行う。

授業計画

ステップ	（月/日）	学習内容・課題	習得目標	他授業連携
1	9月6日	1.小売業の類型 ①小売業と流通の役割	小売業の役割を理解する。	販売実務演習（前期）
2	9月13日	②形態別小売業の基本的役割	販売形態の種類と特徴を学ぶ。	マーケティング
3	9月20日	③業種から業態への移り変わり、無店舗販売のあり方	小売形態の変遷を理解する。	マーケティング
4	9月27日	④商店街の現状と今後 巣鴨地蔵通り商店街見学	商店街の現状、課題と方向性を理解する。	マーケティング
5	10月4日	2.マーチャンダイジング ①商品計画の基本	売れる商品計画をどう作るか理解する。	MD論
6	10月11日	②仕入計画と販売計画の基本、POSシステムについて	仕入・販売計画の基本を理解する。	バイヤー演習
7	10月18日	③ディスプレイの基本	売場テーマに基づいたディスプレイを学ぶ。	
8	10月25日	④価格政策の基本	価格設定と価格政策、価格帯について学ぶ	MD論
9	11月1日	3.ストアオペレーション ①箱入れ包装、ラッピング技術	顧客満足を高める箱入れ包装の実技を学ぶ。	
10	11月8日	②効率的な店舗運営について	開店準備をから閉店までの店舗運営を学ぶ。	マーケティング
11	11月15日	③店舗運営の実際　店舗ディスプレイのリサーチ	流行・市場調査としての店舗見学を行う。	マーケティング
12	11月22日	④POP広告の作成実技	pop広告の作成方法を理解する。	
13	11月29日	後期1テスト	後期１の内容確認テスト	

講師区分	常勤	講師名	副田　勝久	関係実務経験	都内百貨店に勤務し、アパレル販売、バイヤー、催事担当、社員教育等の実務経緯を有する

2023年度　東京服飾専門学校 教科別シラバス

授業科目名	学期	回数（限）	時間数	学科コース	学年	クラス
販売士	後期Ⅱ	22	27.5	ファッションビジネス科	2	A

選択区分	必修 or 選択	授業形態（講義/実習割合）	企業連携・企業講師
	必修	講義７/実習3	一般社団法人日本販売士協会

科目概要	アパレル・ファッション業界で多様化した顧客ニーズを的確に捉え、豊富な商品知識や接客技術を武器に、顧客に合った商品を提供できることを目標に学ぶ。商品開発、企画、仕入れ、販売、陳列、物流など幅広い内容の基本を学ぶ。希望者は販売士３級受験指導。（インターネット受験で試験日程は本人希望日）
習得項目	1.小売業の類型（小売業の組織、店舗形態）、2.マーチャンダイジング（商品計画、販売計画、仕入計画、価格設定、在庫・販売管理）、3.ストアオペレーション（包装技術実技、ディスプレイ、商品包装・ラッピング実技）、　4.マーケティング（商圏と出店計画）、5.販売・経営管理（計数管理と店舗管理）
評価方法	各項目に標準点を置き「定期テスト成績」100ポイント、「課題の評価」100ポイント、「実技等の採点」100ポイントとして、その平均値を算出し評価を行う。

授業計画

ステップ	（月/日）	学習内容・課題	習得目標	他授業連携
1	12月6日	1.小売業のマーケティング ①顧客満足をどう図るか	顧客の固定化を図る学ぶ顧客管理を学ぶ。	マーケティング
2	12月13日	②売上アップをはかる販売促進	販売促進の諸策を学ぶ。	マーケティング
3	12月20日	③売場づくりの手順。照明、色彩、ディスプレイ。	売上アップをはかる売場作りを学ぶ。	
4	1月10日	2.販売・経営管理 ①接客マナー、敬語、身だしなみ	販売員としての心構えを学ぶ。	
5	1月17日	②小売業に関する法令	小売業、商品、販売促進に関する法令。	
6	1月24日	③計数管理。販売損益の計算方法。	損益計算ができるようにする。	マーケティング
7	1月31日	定期テスト	これまでの確認と総まとめ。	
	2月7日	学校行事		
	2月14日	学校行事		
	2月21日	学校行事		
	2月27日	学校行事		

講師区分	常勤	講師名	副田　勝久	関係実務経験	都内百貨店に勤務し、アパレル販売、バイヤー、催事担当、社員教育等の実務経緯を有する

2023年度　東京服飾専門学校 教科別シラバス

授業科目名	学期	回数（限）	時間数	学科コース	学年	クラス
ショー制作演習	前期	28	35	ファッションビジネス科	2	A

選択区分	必修 or 選択	授業形態（講義/実習割合）	企業連携・企業講師
	必修	演習70%・講義30%	なし

科目概要	卒業制作ファッションショーに向けて、様々な舞台演出やステージ、ファッションショーの制作、演出を学ぶ。 東京を代表するコレクションブランドのルックブックやコレクションのインビテーションなど印刷物の知見を深める。
習得項目	専門講師による講義、リサーチによる知識習得と向上 グループディスカッションでのプレゼンテーションスキル習得
評価方法	レポート提出／授業態度／出欠状況をトータルして評価

授業計画

ステップ	（月/日）	学習内容・課題	習得目標	他授業連携
1	4月14日	授業内容説明・スケジュール確認等	スケジュール管理	
2	4月21日	卒業制作ファッションショー鑑賞 グループディスカッション	ディスカッション	
3	4月28日	東京コレクションブランド印刷物の解説	レイアウト、DTP理解	
4	5月12日	舞台演出 講義	演出の効果	
5	5月19日	グループディスカッション 使用機材確認、予算出し	ディスカッション 予算管理	
6	5月26日	ファッションショーの演出例 (照明や音響)解説	演出の効果	
7	6月2日	コレクションムービー鑑賞	演出の効果	
8	6月9日	舞台演出 講義	演出の効果	
9	6月16日	ムービー作成 グループワーク	演出の効果	
10	6月23日	美術セットについて講義	演出の効果	
11	6月30日	機材、備品棚卸し、リスト作成	備品管理 予算管理	
12	7月7日	スケジュール表作成 パーカーデザイン出し	スケジュール管理	
13	7月14日	グループディスカッション	ディスカッション	
14	45128	前期まとめ		

講師区分	常勤	講師名	山内講平、飯田紗綾 海老名ふたば	関係実務経験	プレス、バイヤー、スタイリストなどアパレル業界においての実務経験を持ち実務で必要な事柄を指導する

2023年度　東京服飾専門学校 教科別シラバス

授業科目名	学期	回数（限）	時間数	学科コース	学年	クラス
卒業制作ファッションショー制作実習	後期Ⅰ	48	60	ファッションビジネス科	2	A

選択区分	必修 or 選択	授業形態（講義/実習割合）	企業連携・企業講師
	必修	演習80%・講義20%	なし

科目概要	2月末の卒業制作ファッションショーに向けた準備・企画立案・実行
習得項目	企画立案からプレゼンテーションの流れ。実行までの知識習得 各係ごとの作業を通して、イベントの流れ、使用機材の知識習得・技術向上を目指す
評価方法	役職有無／仕事取り組み／授業態度／出欠状況をトータルして評価

授業計画

ステップ	（月/日）	学習内容・課題	習得目標	他授業連携
1	9月1日	授業内容説明・スケジュール確認 リーダー選出	スケジュール管理	
2	9月8日	バス遠足		
3	9月15日	ショー全体テーマに向けた企画立案 及び係ごと作業	スケジュール管理	
4	9月22日	ショー全体スケジュールプレゼンテーション（全校）	プレゼンテーション能力	
5	9月29日	各係ごと作業 プレゼンテーション準備	スケジュール管理	
6	10月6日	第一回プレゼンテーション	プレゼンテーション能力	
7	10月13日	各係ごと作業 プレゼンテーション準備	スケジュール管理	
8	10月20日	運動会		
9	10月27日	第二回プレゼンテーション	プレゼンテーション能力	
10	11月10日	各係ごと作業 プレゼンテーション準備	スケジュール管理	
11	11月17日	第三回プレゼンテーション	プレゼンテーション能力	
12	11月24日	各係ごと作業	スケジュール管理	

講師区分	常勤	講師名	山内講平、飯田紗綾 海老名ふたば、 上野菜月、柳澤沙織	関係実務経験	プレス、バイヤー、スタイリストなどアパレル業界においての実務経験を持ち実務で必要な事柄を指導する

2023年度 東京服飾専門学校 教科別シラバス

授業科目名	学期	回数（限）	時間数	学科コース	学年	クラス
卒業制作ファッションショー制作実習	後期Ⅱ	44	55	ファッションビジネス科	2	A

選択区分	必修 or 選択	授業形態（講義/実習割合）	企業連携・企業講師
	必修	演習70%・講義30%	なし

科目概要	2月末の卒業制作ファッションショーに向けた準備・企画立案・実行
習得項目	企画立案からプレゼンテーションの流れ。実行までの知識習得 各係ごとの作業を通して、イベントの流れ、使用機材の知識習得・技術向上を目指す
評価方法	役職有無／仕事取り組み／授業態度／出欠状況をトータルして評価

授業計画

ステップ	（月/日）	学習内容・課題	習得目標	他授業連携
1	12月1日	各係ごと作業 プレゼンテーション準備	スケジュール管理	
2	12月8日	第四回プレゼンテーション	プレゼンテーション能力	
3	12月15日	各係ごと作業	舞台演出	
4	12月22日	各係ごと作業	音響、映像の効果	
5	1月12日	各係ごと作業	広報物作成スキル	
6	1月19日	各係ごと作業	装飾と動線	
7	1月26日	各係ごと作業	予算表、リスト作成と管理	
8	2月2日	各係ごと作業	撮影とデータ格納	
9	2月9日	各係ごと作業	誘導、アテンド	
10	2月16日	ショー週間		
11	3月1日	ショー週間		

講師区分	常勤	講師名	山内講平、飯田紗綾 海老名ふたば、 上野菜月、柳澤沙織	関係実務経験	プレス、バイヤー、スタイリストなどアパレル業界においての実務経験を持ち実務で必要な事柄を指導する

2023年度　東京服飾専門学校 教科別シラバス

授業科目名	学期	回数（限）	時間数	学科コース	学年	クラス
就職キャリアデザイン	前期	28	35	ファッションビジネス科	2	A

選択区分	必修 or 選択	授業形態（講義/実習割合）	企業連携・企業講師
	必修	オンライン講義　100%	なし

科目概要	就職活動のために必要な知識・マナーを習得する。 就職後に必要となるビジネス知識や社会情勢を理解し、キャリア形成のために必要な知識・マナーを習得する。
習得項目	・就職活動で必要となる選考書類や面接対策 ・キャリアアップに必要となる幅広いビジネス知識 ・社会人に求められる論理思考、文章作成能力の向上
評価方法	各項目に標準点を置き「履修意欲・習熟度」100ポイント、「課題評価」100ポイントとして、その平均値を算出し評価を行う。（出席率が75%未満、成績評価が60点未満の場合は補習の対象となる） 出席率が65%未満の場合は留年。

授業計画

ステップ	（月/日）	学習内容・課題	習得目標	他授業連携
1	4月14日	オリエンテーション（就活の流れ、22年新卒採用状況）		
2	4月21日	「社会人基礎力」について / 選考書類作成	「社会人基礎力」の理解 / 書類作成方法	
3	4月28日	ロジカルシンキング / 面接対策（よくある出題と回答）	論理的思考の理解 / 面接の回答作成	
4	5月12日	文章表現	文章作成能力の向上	
5	5月19日	文書作成	ビジネス文書、小論文の作成	
6	5月26日	会社の種類、構造 / SPI、常識問題対策	会社の種類とその違いの理解 / SPI、常識問題の内容把握	
7	6月2日	ビジネストレンド（サブスクリプション）	サブスクリプション型ビジネスの理解	
8	6月9日	経営、起業（副業、起業、個人事業について）	起業や独立に必要な知識の習得	
9	6月16日	ビジネストレンド（インバウンド）	インバウンドビジネスの理解□	
10	6月23日	他業界研究（音楽、映像、エンタメ業界など）	他業界の構造の理解	
11	6月30日	ビジネストレンド（ファンコミュニティ）	ファンコミュニティの理解□	
12	7月7日	ビジネストレンド（AI）	AIに関わるビジネスの理解とAIツールの使用法	
13	7月14日	今後のファッション業界のビジネス	業界の現状把握	
14	45128	前期修了ショー		

講師区分	常勤	講師名	久野　麻衣	関係実務経験	採用、新人研修

2023年度　東京服飾専門学校 教科別シラバス

授業科目名	学期	回数（限）	時間数	学科コース	学年	クラス
産学連携実習	前期	56	70	ファッションビジネス科	2	A

選択区分	必修 or 選択	授業形態（講義/実習割合）	企業連携・企業講師
	必修	実技60% 講義40%	あり

科目概要	企業の仕事についての理解を深めるため企業と連携して実践的な課題に取り組むことで、アパレル業界で必要となる知識や経験を得る。
習得項目	・課題に対しての理解力を養い、提案能力を習得 ・問題解決能力を養う ・プレゼン能力の習得
評価方法	各項目に標準点を置き「授業態度・製作意欲・習熟度」100ポイントを担当講師採点。 「課題評価」100ポイントを連携企業採点として、その平均値を算出し評価を行う。 （出席率が75%未満、成績評価が60点未満の場合は補習の対象となる）　出席率が65%未満の場合は留年。

授業計画

ステップ	（月/日）	学習内容・課題	習得目標	他授業連携
1	4月13日	オリエンテーション、企業リサーチ		
2	4月20日	売れるショップの条件と新規店舗提案 課題説明	課題内容の理解	株式会社キャン
3	4月27日	売れるショップの条件と新規店舗提案 ショップリサーチ	リサーチ能力の習得	
4	5月11日	売れるショップの条件と新規店舗提案 課題ワーク	提案能力の習得	
5	5月18日			
6	5月25日	売れるショップの条件と新規店舗提案 課題ワーク･プレゼン練習	問題解決能力とプレゼン能力の習得	
7	6月1日	売れるショップの条件と新規店舗提案 課題プレゼン	プレゼン能力の習得	
8	6月8日	ECページの制作 課題説明	課題内容の理解	株式会社ステップス
9	6月15日	ECページの制作 ショップリサーチ	リサーチ能力の習得	
10	6月22日	ECページの制作 商品撮影・採寸	商品撮影スキル	
11	6月29日	ECページの制作 ページ作成	EC制作スキル	
12	7月6日	ECページの制作 ページ作成･プレゼン練習	問題解決能力とプレゼン能力の習得	
13	7月13日	ECページの制作 課題プレゼン	プレゼン能力の習得	
14	45127	前期ショーリハ		

講師区分	常勤	講師名	久野麻衣･石川誠	関係実務経験	国内外ブランドでの営業･ MD実務と営業部長、MD部長を歴任

2023年度　東京服飾専門学校 教科別シラバス

授業科目名	学期	回数（限）	時間数	学科コース	学年	クラス
産学連携実習	後期Ⅰ	48	60	ファッションビジネス科	2	A

選択区分	必修 or 選択	授業形態（講義/実習割合）	企業連携・企業講師
	必修	実技60% 講義40%	あり

科目概要	企業の仕事についての理解を深めるため企業と連携して実践的な課題に取り組むことで、アパレル業界で必要となる知識や経験を得る。
習得項目	・課題に対しての理解力を養い、提案能力を習得 ・問題解決能力を養う ・プレゼン能力の習得
評価方法	各項目に標準点を置き「授業態度・製作意欲・習熟度」100ポイントを担当講師採点。 「課題評価」100ポイントを連携企業採点として、その平均値を算出し評価を行う。 （出席率が75%未満、成績評価が60点未満の場合は補習の対象となる）　出席率が65%未満の場合は留年。

授業計画

ステップ	（月/日）	学習内容・課題	習得目標	他授業連携
1	9月7日	ショート動画制作（仮） 課題説明	課題内容の理解	株式会社ウィゴー
2	9月14日	ショート動画制作（仮） リサーチ・ターゲット選定	リサーチ能力の習得	↓
3	9月21日	ショート動画制作（仮） 企画書作成	提案能力の習得	↓
4	9月28日	ショート動画制作（仮） プレスルームでの撮影	効果的な動画撮影方法の習得	↓
5	10月5日	ショート動画制作(仮) 映像編集	効果的な動画編集能力の習得	↓
6	10月12日	ショート動画制作(仮) インサイト検証・プレゼン練習	分析能力とプレゼン能力の習得	↓
7	10月19日	ショート動画制作(仮) 課題プレゼン	プレゼン能力の習得	↓
8	10月26日	古着卸倉庫見学	古着業界の理解	※見学場所検討中
9	11月2日	ディスプレイ提案（仮） 課題説明	課題内容の理解	株式会社クレヨン
10	11月9日	ディスプレイ提案（仮） ショップリサーチ	リサーチ能力の習得	↓
11	11月16日	ディスプレイ提案（仮） 課題ワーク	提案能力の習得	↓
12	11月30日	↓	↓	↓

講師区分	常勤	講師名	久野麻衣・石川誠	関係実務経験	国内外ブランドでの営業・ MD実務と営業部長、MD部長を歴任

2023年度　東京服飾専門学校 教科別シラバス

授業科目名	学期	回数（限）	時間数	学科コース	学年	クラス
産学連携実習	後期Ⅱ	44	55	ファッションビジネス科	2	A

選択区分	必修 or 選択	授業形態（講義/実習割合）	企業連携・企業講師
	必修	実技60% 講義40%	あり

科目概要	企業の仕事についての理解を深めるため企業と連携して実践的な課題に取り組むことで、アパレル業界で必要となる知識や経験を得る。
習得項目	・課題に対しての理解力を養い、提案能力を習得 ・問題解決能力を養う ・プレゼン能力の習得
評価方法	各項目に標準点を置き「授業態度・製作意欲・習熟度」100ポイントを担当講師採点。 「課題評価」100ポイントを連携企業採点として、その平均値を算出し評価を行う。 （出席率が75%未満、成績評価が60点未満の場合は補習の対象となる）　出席率が65%未満の場合は留年。

授業計画

ステップ	（月/日）	学習内容・課題	習得目標	他授業連携
1	12月7日	ディスプレイ提案（仮） 課題プレゼン	プレゼン能力の習得	株式会社クレヨン
2	12月14日	コラボ企画提案（仮） 課題説明	課題内容の理解	株式会社アズノゥアズ
3	12月21日	コラボ企画提案（仮） ショップリサーチ	リサーチ能力の習得	↓
4	1月11日	コラボ企画提案（仮） 課題ワーク	提案能力の習得	↓
5	1月18日	↓	↓	↓
6	1月25日	コラボ企画提案(仮) 中間チェック	プレゼン能力の習得	↓
7	2月1日	コラボ企画提案(仮) 課題ワーク	問題解決能力の習得	↓
8	2月8日	コラボ企画提案（仮） 課題プレゼン	プレゼン能力の習得	↓
9	2月15日	ショー週間		
10	2月22日	ショー週間		
11	2月29日	ショー週間		

講師区分	常勤	講師名	久野麻衣・石川誠	関係実務経験	国内外ブランドでの営業・ MD実務と営業部長、MD部長を歴任

2023年度　東京服飾専門学校 教科別シラバス

授業科目名	学期	回数（限）	時間数	学科コース	学年	クラス
MD論	前期	28	35	ファッションビジネス科	2	A

選択区分	必修 or 選択	授業形態（講義/実習割合）	企業連携・企業講師
	必修	講義50%、実習50%	なし

科目概要	通年を通し、マーチャンダイザーの業務内容・役割・KPI達成など基礎知識から実際の店舗での環境観察（プライス・VMD・購入客等）を通し、より実務を想定した学習内容
習得項目	販売売上実績を職責とした際の業務詳細、及び、社内での他部署との連携実務、また、ブランディング過程の同ポジションの役割・実務。学期末には、実際に自社店舗をローンチする仮想プログラムを演習。
評価方法	各項目に標準点を置き、「意欲・理解度」100ポイント/「課題評価」100ポイントとし、平均点算出評価（出席率が75%未満、成績評価60点未満の場合は補習対象とする）　出席率が65%未満の場合は留年対象となる。

授業計画

ステップ	（月/日）	学習内容・課題	習得目標	他授業連携
1	4月11日	授業内容説明、スケジュール		
2	4月18日	好きなブランド研究	設定項目の観察能力	
3	4月25日	好きなブランド研究　レポート作成・発表		
4	5月9日	マーチャンダイザーとは？	基礎知識習得	
5	5月16日	マーチャンダイザーの業務		
6	5月23日	マーチャンダイジングxマーケティング	「ターゲット」を知る	
7	5月30日	消費者･ライフスタイル･購買心理		
8	6月6日	好きなブランド研究②	観察能力の向上	
9	6月13日	好きなブランド②　レポート作成・発表		
10	6月20日	商品開発過程①	商品戦略の理解	
11	6月27日	商品開発過程②		
12	7月4日	競合ブランドリサーチ	ブランドの強み・弱みを知る	
13	7月11日	競合ブランドリサーチ②		
14	45125	期末テスト：競合ブランド研究レポート	市場でのポジショニングを知る	

講師区分	常勤	講師名	石川　誠	関係実務経験	国内外ブランドでの営業・ MD実務と営業部長、MD部長を歴任

2023年度　東京服飾専門学校 教科別シラバス

授業科目名	学期	回数（限）	時間数	学科コース	学年	クラス
MD論	後期Ⅰ	26	32.5	ファッションビジネス科	2	A

選択区分	必修 or 選択	授業形態（講義/実習割合）	企業連携・企業講師
	必修	講義50%、実習50%	なし

科目概要	通年を通し、マーチャンダイザーの業務内容・役割・KPI達成など基礎知識から実際の店舗での環境観察（プライス・VMD・購入客等）を通し、より実務を想定した学習内容
習得項目	販売売上実績を職責とした際の業務詳細、及び、社内での他部署との連携実務、また、ブランディング過程の同ポジションの役割・実務。学期末には、実際に自社店舗をローンチする仮想プログラムを演習。□
評価方法	″各項目に標準点を置き、「意欲・理解度」100ポイント/「課題評価」100ポイントとし、平均点算出評価（出席率が75%未満、成績評価60点未満の場合は補習対象とする）　出席率が65%未満の場合は留年対象となる。

授業計画

ステップ	（月/日）	学習内容・課題	習得目標	他授業連携
1	9月5日	前期の振り返り		
2	9月12日	商品価格の仕組みと設定方法	収益源の理解	
3	9月19日	マーチャンダイザー計数の基礎知識		
4	9月26日	リテールとアウトレット事業	利益性の理解	
5	10月3日	ブランディングにおけるMDの役割①	ブランディング理解	
6	10月10日	ブランディングにおけるMDの役割②		
7	10月17日	収益計画演習①	収益性観点	
8	10月24日	収益計画演習②		
9	10月31日	クリアランスセール　リサーチ （収益性の理解）		
10	11月7日	クリアランスセール　リサーチ （収益性の理解）		
11	11月14日	ここまでの復習		
12	11月21日	期末テスト		
13	11月28日	期末テスト振り返り		

講師区分	常勤	講師名	石川　誠	関係実務経験	国内外ブランドでの営業・ MD実務と営業部長、MD部長を歴任

2023年度 東京服飾専門学校 教科別シラバス

授業科目名	学期	回数（限）	時間数	学科コース	学年	クラス
MD論	後期Ⅱ	22	27.5	ファッションビジネス科	2	A

選択区分	必修 or 選択	授業形態（講義/実習割合）	企業連携・企業講師
	必修	講義50%、実習50%	なし

科目概要	通年を通し、マーチャンダイザーの業務内容・役割・KPI達成など基礎知識から実際の店舗での環境観察（プライス・VMD・購入客等）を通し、より実務を想定した学習内容
習得項目	″販売売上実績を職責とした際の業務詳細、及び、社内での他部署との連携実務、また、ブランディング過程の同ポジションの役割・実務。学期末には、実際に自社店舗をローンチする仮想プログラムを演習。
評価方法	″各項目に標準点を置き、「意欲・理解度」100ポイント/「課題評価」100ポイントとし、平均点算出評価（出席率が75%未満、成績評価60点未満の場合は補習対象とする）　出席率が65%未満の場合は留年対象となる。

授業計画

ステップ	（月/日）	学習内容・課題	習得目標	他授業連携
1	12月5日	自社ブランドの立ち上げ①	総合的業務分掌の実施	
2	12月12日	自社ブランドの立ち上げ②		
3	12月19日	自社ブランドの立ち上げ③		
4	12月26日	自社ブランドの立ち上げ④		
5	1月16日	自社ブランドの立ち上げ⑤		
6	1月23日	プレゼンテーション提出		
7	1月30日	プレゼンテーション振り返り		
8	2月6日	Fashion Show 期間		
9	2月13日	Fashion Show 期間		
10	2月20日	Fashion Show 期間		
11	2月27日	Fashion Show 片付け		

講師区分	常勤	講師名	石川 誠	関係実務経験	国内外ブランドでの営業・ MD実務と営業部長、MD部長を歴任